

平成 22 年度（2010 年度）

豊中市 食育推進計画年次報告書



えがおも
おいしい
おかずだね!!



今日の食事が、
明日のチカラ。

豊中市
Toyonaka City

●本報告書について

平成 20 年(2008 年)3 月に豊中市食育推進計画が策定されました。本書は、食育に関する平成 22 年度(2010 年度)の市内の取り組み等についてまとめたものです。

第 1 章は、豊中市内で行われた特徴的な取り組みということで、各取り組みの具体的な内容とコラムを掲載しています。食育について楽しく読み進めていただける章です。

第 2 章は、豊中市食育推進計画の数値目標について、事業参加者にアンケート調査を行った結果と考察を掲載しています。数値目標に沿った項目に加えて、毎年テーマを決めて調査項目を設定し、考察しています。

第 3 章は、豊中市内で行われた、食育に関する各事業について掲載しています。食育の視点で見た各事業の考察と、今後の方向性を見ていただくことができます。

第 4 章は、食育推進貸し出しグッズを掲載しています。必要なグッズがあれば是非ご利用ください。

豊中市食育推進計画のシンボルマークとキャッチフレーズについて

「市民一人ひとりが生涯を通じて健康で心豊かな生活ができることをめざす」
豊中市食育推進計画の実現を図り、市民のみなさまに計画を身近なものと感じていただくために募集をしました。
一般の部、児童の部から選ばれた作品です。(応募総数1,109作品)



シンボルマーク一般の部
松浦 知恵子さんの作品



シンボルマーク児童の部
新田小学校
上村 梨花さんの作品

**今日の食事が、
明日のチカラ。**

キャッチフレーズ一般の部
榎 寛子さんの作品

**えがおも おいしい
おかずだね!!**

キャッチフレーズ児童の部
南桜塚小学校
東 千咲季さんの作品

豊中市食育推進計画年次報告書 目次

1	平成22年度（2010年度）の特徴的な取り組み	1
	シニア向けお口の健康づくり媒体作成と啓発活動	2
	学校における児童生徒に対する食育の取り組み	8
	図書館の特集展示「人生おいしく～食にかんする本～」	24
2	推進計画の数値目標の達成状況（意識調査）	31
3	各事業の進行状況	39
	所管別索引	40
	1. 行政の取り組み	41
	出版物(41) 映像(42) インターネット(42) 図書(42) 相談対応・指導(43)	
	総合的情報提供(47) 交流・体験機会の提供(48)	
	各種料理教室・講演会・イベント(51) 講師派遣(58) その他啓発(58)	
	食品廃棄物・地産地消(60) 市民による自主活動への支援(60)	
	関係機関の連携(63)	
	2. 教育・保育の取り組み	64
	出版物(64) 相談対応・指導(64) 交流・体験機会の提供(66)	
	各種料理教室・講演会・イベント(68) 食品廃棄物・地産地消(70)	
	連携(70) 体制づくり(70)	
	3. 地域社会の取り組み	72
	相談対応(72) 体験(72) 各種料理教室・講演会・イベント(72)	
	活動支援(77) 食品廃棄物・地産地消(77)	
4	その他（食育関連の情報提供等）	79
	食育推進貸出グッズ一覧	80
	食育推進グッズ貸出実績	89

＜ コラム ＞

1.	こんな取り組みしています とよなか消費者協会	7
2.	「団塊塾とよなか」男性シニアクッキング	23
3.	クッキング保育での子どもたちのつぶやき	28

1 平成 22 年度（2010 年度）の特徴的な取り組み

平成 22 年度（2010 年度）に行われた
食育に関する取り組みの一部をご紹介します。

シニア向けお口の健康づくり媒体作成と啓発活動

学校における児童生徒に対する食育の取り組み

図書館の特集展示「人生おいしく～食にかんする本～」

＜ コラム ＞

1. こんな取り組みしています とよなか消費者協会
2. 「団塊塾とよなか」男性シニアクッキング
3. クッキング保育での子どもたちのつぶやき

事業名称

シニア向けお口の健康づくり媒体作成と啓発活動

新規事例

世代間交流（青年期・高年期）

対応するライフステージ

妊娠期

幼年期

少年期

青年期

壮年期

中年期

高年期

0歳～

6歳～

15歳～

25歳～

45歳～

65歳～

関係する分野

教育 ・ 保健

対応する大目標

V お口の健康を維持・増進しよう

対応する年代別目標

青年期 定期的な歯科健診を受け、お口の健康を保とう

高年期 食に関わる経験を次世代に伝えよう

何でもおいしく食べられる元気なお口で、健康な生活を送ろう

対応する施策の展開

青年期 ④ 歯科保健の推進

高年期 ① 高齢者の交流を深める場や楽しく食事をする機会の提供

④ 歯科保健の推進

1. 目的

豊中市食育推進計画では「食」を支え、健康な食生活を送るためにお口の健康を維持、増進することを目標の一つとしている。高校生や大学生と協働し、高年期向けのお口の健康づくり教材の作成を行い、青年期の人がお口の健康づくりに関心を持ち、さらに高齢者にも楽しくお口の健康づくりを進めてもらうことを目的とする。

2. 主催 健康支援室

3. 協力 (社)豊中市歯科医師会、大阪府立桜塚高等学校家庭科部、 相愛大学人間発達学部発達栄養学科、豊中市老人クラブ連合会 他

4. 内容

①高年期向け歯科保健冊子の作成

『いきいきシニアのためのお口の健康づくりハンドブック』（A4 判 20 頁）

府立桜塚高校家庭科部の生徒が考えた料理レシピ「噛んですこやかかむかむメニュー」や、噛む・飲み込むといった機能の低下を予防し、唾液の分泌を促す効果がある「ごっくん・にっこり体操」、歯とお口のお手入れ方法などを掲載。

②高年期向けお口の健康づくり体操 DVD の作成

『ごっくん・にっこり体操』（DVD18 分）

相愛大学人間発達学部発達栄養学科の学生が出演。ストレッチや舌を動かす運動を行うごっくん体操と、くちびる・ほほの運動や発音練習を行うにっこり体操を収録。

※音楽は平成 17・18 年度に歯と口の健康づくり推進指定校であった豊中市立豊島北小学校の保健委員会が主となり、全校の児童に呼びかけて作成された「てきたっことはみがきのうた」のメロディを使用。

③食の育みフォーラム「充実したシニアライフはお口の健康から～食べる、話す、そして楽しむ」の開催

豊中市歯科医師会会長後藤真一先生による基調講演「歯科保健から考える健康づくり」と、豊中市老人クラブ連合会会長古川克己さん、豊中市歯科医師会専務理事真鍋哲也先生と健康支援室の歯科衛生士によるパネルディスカッション「60 歳からの健口づくり～いきいき楽しいシニアライフ～」、相愛大学学生によるごっくん・にっこり体操の実演など。同日にロビーイベントとして、豊中市立南丘小学校 5 年生児童作成の「歯がつく言葉」の展示、府立桜塚高校生考案の「噛んですこやか かむかむメニュー」の試食なども開催。

④高校生と作る「かむかむメニュー」クッキングの開催

府立桜塚高校家庭科部が考えたよく噛んで食べることができるメニューを家庭科部生徒と高齢者が一緒に調理実習し試食、お口の健康づくり体操の実習ができる教室を開催。

⑤お口の健康づくりハンドブックと DVD を用いての歯科保健啓発活動

⑥ハンドブックと DVD を配布し家庭や関係機関、団体での取り組みが活発になり、お口の健康づくりにかかる食育活動を行えるように支援する。

5. スケジュール

時 期	内 容
平成 22 年 4 月～	ハンドブックの内容について検討開始 お口の健康づくり体操について検討開始
5 月 6 月	桜塚高校家庭科部生徒とよく噛めるメニューについて検討（2 回） 豊中市歯科医師会へ監修依頼
7 月	桜塚高校生とかむかむメニューの試作（25 品）と採点 ハンドブックへ掲載するメニューの決定 相愛大学へ体操モデルボランティア募集開始
8 月	ハンドブック完成
9 月	お口の健康づくり体操 DVD 収録
10 月	「充実したシニアライフはお口の健康から」と題し、食の育みフォーラム開催
11 月～	ハンドブックと DVD の配布開始※ 完成媒体を用いての啓発活動開始
12 月	高校生とクッキング「かむかむメニュー」の開催
平成 23 年 2 月～	老人クラブ連合会単位クラブ役員研修会にて市内 176 の各単位 クラブの役員にお口の健康づくりハンドブックなどを用い、お口の 健康づくりについて研修を実施。

※ 市民や関係団体（健康づくり推進員会、豊中市老人クラブ連合会 等）に、
ハンドブック 1,800 冊、DVD 480 枚 配布。（平成 23 年 3 月末現在）

6. 考察

お口の健康づくりハンドブック製作過程では、高齢者が作りやすくおいしく食べながらお口の機能を高めることができるかむかむメニューを高校生が考えたことで、若い世代との世代間交流が図られ、若い世代も生涯を通じた自身のお口の健康づくりを考えるきっかけづくりとなった。

また、メニューを考案した若い世代のグループが高齢者とともに調理実習やお口の健康づくり体操をおこなう教室の開催を行えたことは、高齢者が楽しみながら取り組みを進めていく工夫となったと思われる。

さらに、食の育みフォーラムのテーマを「お口の健康づくり」として開催し、その中で、ごっくんにっこり体操 DVD に出演している大学生ボランティアが市民と一緒に体操を演習したり、ハンドブックを配布し、市民へお口の健康づくりへの関心を高めることができた。フォーラムに出演していただいた老人クラブ連合会会長からも、「口を動かすことは自分でできる健康づくり。お口の体操などは一度だけでは効果がないので続けていくことが大切。市内各所で、会全体で継続して取り組んでいきたい」との言葉もあり、今後は地域のなかでの広がりを期待している。



お口の健康づくり体操DVD
～ごっくん・にっこり体操～

ごっくん体操・・・ストレッチ
舌の運動
にっこり体操・・・くちびる・ほほの運動
発音練習

お口の健康づくりハンドブック

1. 健康なお口をつくる！（知識編）
お口の役割・お口元気でこんないいこと・これって黄色信号？！
2. 健康なお口をつくる！（実践編）
お口のお手入れ方法・お口の健康づくり体操～ごっくん・にっこり体操～
嚙んですこやか☆かむかむメニュー
3. かかりつけ歯科医での歯科健診のススメ
4. お口のトラブル110番
5. お口のお手入れ／ごっくん・にっこり体操カレンダー



府立桜塚高校家庭科部のメンバー
でどんな食材がよく嚙めるか？嚙
む回数を増やすにはどうしたらよ
いのか考えながら 25 種類ものレ
シピを考え試作しました。



その中でも特に皆が美味しい、よ
く嚙める！と採点しただご汁とサ
ツマイモとあんこのデザート春巻
き、揚げなす（和風）。食育フォー
ラムで来場した市民へ試食として
出しました。



DVD撮影前もまずは歯みがき、舌の清掃からスタートです。



DVD撮影風景です。
学生さんもボランティアナレーターさんも緊張ぎみ。
時間がたつにつれて楽しい撮影となりました。



食の育みフォーラムではお口の健康づくりをテーマとして設定し、豊中市歯科医師会会長後藤眞一先生を講師に、講演会が開催されました。



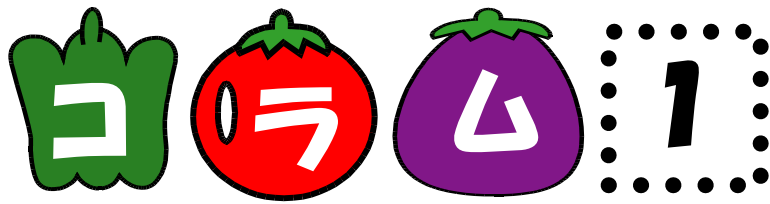
フォーラムの中で、「充実したシニアライフはお口の健康から」をテーマに豊中市歯科医師会眞鍋先生、老人クラブ連合会会長の古川さん、健康支援室歯科衛生士でパネルディスカッションを実施。



お口の健康づくり体操～ごっくん・にっこり体操～をフォーラム参加者全員で実演。
写真はごっくん体操のストレッチ実施風景。



高校生とクッキングかむかむメニュー



こんな取り組みをしています とよなか消費者協会



とよなか消費者協会は「くらしの安全と健康を守り、市民に役立つ協会」を目標に活動を続けています。

その中でも「食」にかかわる多くの取り組みをしていますので一部をご紹介します。

たとえば豊中市の委託を受けて開催している「生活情報ひろばの催し」ではパネル展、近郊で作られた安全で安心な野菜や米、卵などを有料で頒布する地産地消イベント、消費者啓発講座などをおこなっています。

平成 22 年（2010 年）9 月のパネル展では食べることを支えるお口の健康づくりをテーマに桜塚高校の生徒が作成した、幼児向けの歯科保健教材「にこりちゃんとぴかりくんの大冒険」（貸出グッズ 81 ページ参照）や庄内西小学校の児童が作成した「よい歯の集いかるた」（貸出グッズ 83 ページ参照）を展示し大変好評でした。

平成 23 年（2011 年）3 月の「生活情報ひろばの催し」では、豊中市小売商業団体連合会、豊中商工会議所のご協力のもと「家庭でつくろう 春のフレンチ」の講座を開催しました。牛フィレ肉の柔らかく煮込み パプリカ風味、ペイザンスープ、いちごのムースを市内の小売店で販売されている新鮮な野菜や果物、肉類などの食材を提供いただき調理実習を行いました。ボランティアの大学生さんもお手伝いして下さり、とても和やかな雰囲気の中で春のフレンチを楽しむ 1 日でした。



大阪青山大学准教授 東根裕子先生にご指導いただいています。



事業名称

学校における児童生徒に対する食育の取り組み

新規事例

全小学校での取り組み

対応するライフステージ

妊娠
期

幼
年
期

少
年
期

青
年
期

壮
年
期

中
年
期

高
年
期

0歳～

6歳～

15歳～

25歳～

45歳～

65歳～

関係する分野

教育・地域

対応する大目標

- I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう
- II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう
- III おいしく、楽しく、食事をしよう
- IV 食べる物、食べることを大切にしよう
- V お口の健康を維持・増進しよう

対応する年代別目標

- 幼年期 家族や仲間と楽しく食事をしよう
- 少年期 早寝・早起き・朝ごはんを実践しよう
家族や仲間と楽しく食事をしよう
食の大切さ、調理の方法を学ぼう
歯の大切さを理解し、むし歯予防に取り組もう

対応する施策の展開

- 幼年期 ① 基本的生活習慣の大切さについての情報提供と啓発
- 少年期 ① 学校における「食に関する指導の全体計画」の策定
③ 学校給食センターにおける児童への支援
⑤ 学校給食における地場農作物の活用
⑥ 学校から保護者への情報発信
⑦ 学校間の食育に関する情報交換
⑧ 学校、地域、行政などとの連携による食育の推進
⑨ 学校における「歯・口の健康づくり」の取り組み

1. 目的

児童生徒の時期は、心身の発達とともに、体力や運動能力が著しく伸長し、行動範囲の拡大に伴って、様々な事柄に関心を示すとともに、自我の確立を伴う大切な時です。このような成長期にある子どもにとって、健全な食生活は健康な心身をはぐくむために欠かせないものであると同時に、将来の食習慣の形成に大きな影響を及ぼすもので、極めて重要です。

学校における食育の推進や体力の向上など、体育、健康に関する指導は、児童生徒の発達の段階を考慮して、各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間など、学校教育活動全体を通じて適切に行うことが大切です。特に小学校では、学校給食の時間を活用した食に関する指導については、栄養教諭を中心として取り組んでいます。

児童生徒に対する食育の取り組みは、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性をはぐくんでいくための基礎を培うことをめざして行っています。

2. 所管 教育委員会

3. 内容 「栄養教諭を中心とした食に関する指導実践事例集」（平成23年3月発行 教育委員会）より、取り組み例を4つご紹介します。

取り組み例1	食に関する全体計画の策定（小学校）
取り組み例2	栄養教諭による取り組み（小学校）
取り組み例3	児童による給食の食材の準備の手伝い（小学校）
取り組み例4	わくわく食育プロジェクト（幼児・児童・生徒と保護者）



取り組み例 1 食に関する全体計画の策定（小学校）

市内41校すべてにおいて、「食に関する全体計画」を策定しました。蛭池小学校の計画の一部をご紹介します。

●食に関する指導の全体計画（小学校）

☆子どもの実態☆

- ・知識の量や理解の早さにかなり個人差がある。
- ・さまざまなルーツを持つ子どもたちも多く、家庭での食体験も多様である。

☆保護者、地域の実態☆

- ・学校の特徴は、家庭や地域とのつながりを大切にしているところである。
- 保護者・地域の方々や老人クラブの方々も積極的に行事に参加してくださっている。

学校指導要領
食育基本法
食育推進基本計画
大阪府食育推進基本計画
豊中市食育推進計画

学校教育目標

相互に協力して高め合い、人権と共生を大切にしてたくましく生きぬく子どもの育成

〈めざす子ども像〉

1. よく考え、行動する子ども（知）
2. なかよく協力する子ども（徳）
3. 心も体もたくましい子ども（体）

食に関する指導の目標

- ① 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。（食事の意義）
- ② 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。（心身の健康）
- ③ 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。（食品を選択する能力）
- ④ 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々に感謝する心をもつ。（感謝の心）
- ⑤ 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。（社会性）
- ⑥ 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。（多文化理解）

各学年の食に関する指導の目標

低学年	中学年	高学年
○食べ物に興味・関心をもつ。 ○嫌いな食べ物でも親しみをもつことができる。 ○いろいろな食べ物の名前がわかる。 ○みんなと協力して給食の準備、後片付けができる。	○楽しく食事をするのが心身の健康に大切なことが分かる。 ○健康に過ごすことを意識して、いろいろな食べ物を好き嫌いせずに食べようとする。 ○食事は多くの人々の努力があって作られることを知り、感謝の気持ちをもって食べることができる。	○朝食をとることの大切さを理解し習慣化している。 ○栄養のバランスのとれた食事の大切さが分かる。 ○食品の衛生に気を付けて、簡単な調理をすることができる。 ○外国の食文化を通して、外国とのつながりを考えることができる。

食に関する指導の目標に基づいて、特別活動や各教科など様々な角度から指導計画を立てました。

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
特別活動	学級活動及び給食時間 ○学活 ◎食の指導 ●給食	低学年	○給食の約束、歯を大切に ◎給食を知ろう ●給食の準備をきちんとしよう			○夏休みの健康 ◎食べ物の名前を知ろう ●楽しく食べよう			○健康な生活習慣 ◎食べ物に関心をもとう ●食べ物を大切にしよう			○風邪の予防、成長を振り返ろう ◎食べ物について振り返ろう ●給食の反省をしよう			
		中学年	○給食の約束、歯を大切に ◎食品について知ろう ●給食のきまりを覚えよう			○夏休みの健康、運動と健康 ◎夏休みの食生活について考えよう ●食事の環境について考えよう			○健康な生活習慣 ◎食べ物の3つの働きを知ろう ●食べ物を大切にしよう			○風邪の予防、成長を振り返ろう ◎食生活を見直そう ●給食の反省をしよう			
		高学年	○安全に気を付けた給食準備、歯を大切に ◎食べ物の働きについて知ろう ●楽しい給食時間にしよう			○夏休みの健康、運動と健康 ◎季節の食べ物について知ろう ●食事の環境について考えよう			○健康な生活習慣 ◎食べ物と健康について知ろう ●感謝して食べよう			○風邪の予防、成長を振り返ろう ◎食品を選択する能力を身に付けよう ●1年間の給食について振り返ろう			
	全校一斉指導	●献立カレンダー ●もぐもぐ ●一口メモ ●栄養メモ ●献立放送 ●教室訪問 ★歯みがき(給食時間終了後の歯みがきタイムの放送)													
	学校行事	入学式・三測定・1年生を迎える会・家庭訪問。遠足・4年生社会見学・修学旅行・参観・懇談・PTA総会・6年生社会見学・交通安全教室・ふれあい教育研究集会・個人懇談			林間学舎・3年生社会見学・夏休み・平和登校日・図書館おはなし会・参観・懇談・3,4,5年生社会見学・地震火災非難訓練			運動会・連合運動会・観劇会・公開研究発表会・2,3年生社会見学・学習発表会・冬休み			個人懇談・参観・懇談・PTA総会・2,3年生社会見学・2年世代間交流・1年生学校見学会・6年生を送る会・卒業式・春休み				
	給食(行事食)	・入学お祝い献立 ・こどもの日の献立 ・沖縄慰霊の日の献立 ・食育月間(6月)			・クールアースデー献立 ・七夕献立 ・お月見献立			・クリスマス献立			・正月献立 ・学校給食週間献立 ・節分献立 ・ひな祭り献立 ・卒業お祝い献立				
	児童会活動	★毎月19日は食育の日(4・5月まではカミカミ献立、6月より郷土料理) ★給食委員会(給食の食器・食缶・牛乳などの返却のお手伝い)													

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
教科との関連	国語	・おおきなかぶ ・サラダげんき				・インスタント食品と私たちの生活	・イースター島にはなぜ森林がないのか ・海のいのち
	社会			・豊中市の人々の仕事と暮らし ・今にのこる昔と暮らしのうつりかわり	・健康な暮らしをささえる（命と暮らしをささえる水、ごみのしよりと活用、身の回りの環境について） ・地域の発を願って ・私たちの大阪府・地図をひろげよう	・わたしたちの食生活と食料生産 ・食料生産を支える農業を体験しよう	・米作りのはじまりと国の統一
	理科			・植物のつくりとそだち		・花から実へ ・もののとけ方	・ヒトや動物の体
	生活	・学校探検 ・6年生、よろしく。「給食・お掃除教えてね」 ・えんどう豆のさやむき体験 ・じゃがいもほり、ホイール焼き ・学校で働く人 ・いもほり、だいがくいも	・トマト（りりこ）を育てよう ・Tシャツを染めよう ・どんな仕事があるのかな？				
	図画工作	・おべんとうづくり	・給食を食べる自分	・お店やさん作り		・漁業体験を絵にしよう	
	家庭					・林間学舎にむけてカレー作り ・林間学舎でカレー作り	・楽しい食事を工夫しよう ・お弁当づくり
	体育（保健領域）	・虫歯をなくそう			・健康な暮らし ・成長する心とからだ		・育ちゆく体とわたし
	特活行事					・ゴーヤ植え ・田植え、いねかり ・漁業体験 ・おもちつき	

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
教科との関連	総合			・日本の文化を知ろうⅢ・Ⅳ（和菓子・器） ・町たんけん（市場・空港・お店やさん） ・情報教育（日本の文化を知ろうまとめ）	・見つめなおそう わたしたちのくらし～身近な環境から考えよう～ ・～おいしい給食のひみつ～		
	道徳	1. 主として自分自身に関すること 2. 主として他の人とのかかわりに関すること 3. 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること 4. 主として集団や社会とのかかわりに関すること					
総合的な学習			・どんな仕事があるのかな	・町たんけん（お店やさん・市場）	・見つめなおそう わたしたちのくらし～身近な環境から考えよう ・おいしい給食のひみつ～		
家庭・地域との連携の取組み方		○学校だより ○学年だより ○学級だより ○保健だより ○図書館だより ○給食だより ○食育だより ○PTA 広報 ○ホームページ ○いちご摘み ○人権から地域を考える集い ○ふれあい教育研究集会（協働授業のとりくみ） ○幼保小連絡会 ○心肺蘇生法講習会 ○給食試食会 ○PTA ラジオ体操 ○ 蛍池納涼祭 ○すいとん作り（平和登校日） ○野菜たっぷりメニューコンテスト（豊中市教育委員会と豊中保健所との連携） ○であいふれあい大賞（子育て） ○PTA 北部スポーツ大会 ○敬老の集い ○ 校区スポーツ交流会 ○いもほり ○小中交流 ○十八中職場体験 ○公開研究発表会 ○かぶ抜き ○もちつき（北町公園） ○HOTARUの太鼓 ○ふれあいフェスティバル					
		子どもが輝く学校づくりをめざし、「相互に協力して高めあい、人権と共生を大切にしたい」という教育目標に掲げ、「学力向上」と「集団づくり」を柱に「よく考え、行動することも」「仲良く協力する子ども」「心も体もたくましい子ども」の育成を目指し、全教職員一丸となって取り組んでいる。さらに、地域・家庭・学校がともに子どもの育ちを考えていくために、「人権と共生」をテーマに十八中校区地域教育協議会「子育て・ふれあいの会」を中心にして、地域の方々と連携のもとに「ふれあい教育研究集会」「ふれあいフェスティバル」等に取り組んでいる。とりわけ「ふれあい教育研究集会」においては、学校と地域・家庭がともに授業を創っていく「協働授業」に取り組み、公開授業を行っている。					
地場産物活用の方針		安全で良質な食材を選ぶように努め、できるだけ近くで採れた食材をその土地で消費する「地産地消」を可能な範囲ですすめていく。 （例）・とよっぴー（学校給食センターから毎日出る生ごみとせん定した街路樹などの枝を発酵させて作った土壌改良材・堆肥）を使って栽培された玉ねぎ・青ねぎ・チンゲンサイなどの野菜を給食に使用 ・豊中産（天候不順による成長不良や枯れのため、実際には和歌山産を使用）のえんどう豆を調理前にさやむきしてもらい、5月の給食の『えんどう豆と桜えびのかきあげ』に使用 ・豊中産のお米「ヒノヒカリ」の使用（期間限定）					
個別相談指導の方法及び取組み方		アレルギー児童に対しては、保護者からの申し出により、家庭、管理職、担任、養護教諭、栄養教諭、調理員等が連携して対応する。					

取り組み例 2 栄養教諭による取り組み（小学校）

豆腐の手の平切り体験について

この取り組みは、1年生を対象とし、子どもたちに達成感と自信を持たせる最適の方法であるということを料理研究家の坂本廣子さん（キッズ・キッチン主宰）の講演会※より教えていただき、取り組むことにしました。

どの子どもも真剣に最初の説明を聞きます。包丁を持たせてもらうこともままならないのに、その包丁を自分の手の平で見事に扱いお豆腐を切った時は、自分にもできるという自信が生まれます。



自分に自信をもつこと、それは子どもたちにとって非常に大事なことです。自信が生まれると、それからの行動すべてが積極的になるといわれています。

包丁をもち手の平の上で豆腐を切るという体験を通して、調理することに興味関心を持ち、なにより「できた」という喜びの気持ちを、食育を通して感じることができます。



場 所	家庭科室
持ち物	給食用エプロン ぼうし お箸 手ふき用タオル
準備物	豆腐（絹ごし豆腐 1人 1/9丁） まな板 子ども用包丁（可能であれば右きき用・左きき用を用意します。） おわん しょうゆ しょうゆさし ふきん 台ふき
実施方法	（1）班に分かれてすわる。4～5人ずつで5テーブルにする。 （2）エプロン、ぼうしをつけ、各テーブルの石けんで手を洗う。 （3）お手本を見せて説明する。 （4）前の1テーブルに1班ずつ移動し、豆腐を手の平の上で切る。 （5）おわんにいれ、しょうゆをかけて食べる。 （6）おわんを水洗いして、ふいて返す。

※坂本廣子さん（キッズ・キッチン主宰）の講演会
平成19年（2007年）に原田小学校で講演

取り組み例3 児童による給食の食材の準備の手伝い（小学校）

えんどうまめの収穫・さやむき体験

2年生の生活科の時間に、食育の一環として、あまり食材にふれる機会が少ない子どもたちに「えんどうまめ」の実を見る、さわる、においをかぐ、さやをはさみで切り取る、さやから豆を出すという体験をさせて、食べものに興味をもたせる。また次の日の給食で全校の人に食べてもらうことで、子どもたちに給食の仕事に参加したという達成感を感じさせることができます。また地域の方の協力により、地産地消の取り組みにも子どもたちは、気づきます。



収穫の喜びと地域の方とのふれあいを通して食材や食物への興味・関心を育てます。

〈ねらい〉

- 食育の一環として、子どもたちにえんどう豆の実物を触らせ、さやから豆を出すという体験を通して、食べ物に興味を持たせる。
- 給食に使われる食材の準備を手伝ったという達成感を、子どもたちに持たせる。
- 食べ物と給食ができるまでに関わる多くの人々に対する感謝の気持ちを育てる。

〈準備物〉

- 新聞紙 □むき豆入れ □えんどう豆回収用袋 □さや用袋
- アルコール □ペーパータオル □使い捨て手袋

〈注意事項〉

- ☆ 手洗いの徹底をお願いします。石けんで手洗い後、ペーパータオルで水分を完全にふき取り、アルコール消毒を自然乾燥させる。（水分が残っているとアルコール消毒はききません。）
- ☆ 手指に傷のある児童は、使い捨て手袋をしてさやむきをしてください。

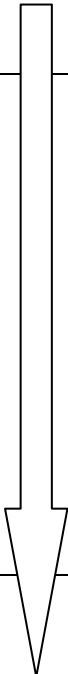




えんどうまめのさやむき体験は、「旬」を理解することにもつながります。

「旬の食べ物を知ろう」というテーマで授業を展開することもできます。

【 展開（例） 】

	学習活動	指導上の留意点	準備物
導 入	食べ物の旬について	いろいろな季節の旬の食べ物とその特徴を紹介し、えんどう豆が春の食べ物であることを理解する。	パソコン プロジェクター スクリーン
展 開	絵本 「そらめめくんとめだかのこ」 （なかや みわ作・絵 福音館書店） 読み聞かせをする。	「そらめめくんとめだかのこ」に登場するいろいろな豆友だち ・ えだめめくん ・ グリンピースくんのきょうだいたち ・ さやえんどうさん ・ ピーナッツくん を通して、いろいろな種類の豆があることやその特徴を知るとともに、お話の主題となる友情ややさしさを理解する。	
ま と め	豆むきの仕方の説明と注意事項を伝える。 	絵本にも登場した「グリンピースのきょうだいたち」を5月14日に実際にむいて、翌日の給食でたべることを伝える。 おいしく楽しく食べられるように準備するよう注意を促す。	

えんどうまめをさやからだそう

えんどうまめのしゅうかくは、たのしかったですか？

えんどうまめは、「うすいまめ」ともいい、いまがーばんおいしいきせつのやさいです。農家の人が手間ひまかけて育ててくださったえんどうまめ。かんしゃの気持ちをこめて食べたいですね。

きょう、みなさんに むいてもらったえんどうまめは、あした、きゅうしょくセンターできれいにあらって、りょうりされ、「えんどうまめ入りごはん」として、きゅうしょくにとうじょうします。

自分でむいたえんどうまめは、どんな味がするかな？

たのしみにしていてね！

＜えんどうまめのえいよう＞

でんぷん

げんきにうんどうしたりべんきょうするエネルギーになるよ！

ビタミンB1. B2

たべものが体の中でエネルギーになるためのおてつだいをしてくれるよ！

しょくもつせんい

おなかの中のそうじをしてくれるよ！

のこったさやのゆくえ

きゅうしょくセンターからリサイクルプラザにはこばれて、「**とよっぴー**」というたいひになります。その**とよっぴー**を使ってそだてられたやさいが、また、きゅうしょくにつかわれます。

● えんどうまめの花はどんないろだったかな？

● えんどうまめの葉はどんなかたちだったかな？

● さやの中にはいくつまめが入っていたかな？



取り組み例4 わくわく食育プロジェクト（幼児・児童・生徒と保護者）

〇わくわく食育プロジェクト

目的 食に関する指導を通して、食生活の乱れや孤食、朝食欠食など食に起因する健康課題に適切に対処し、栄養について学び、おいしく楽しく食事をする事、食べるもの・食べることを大切にするため、家庭・地域と連携し、体験型食育に取り組むとともに学校における食育の推進を図る。

幼小連携 わくわくおやこクッキング教室

食習慣は、小さいころからの積み重ねと言われていています。学校教育の中での食に関する指導計画を作成し、取り組んでいるところですが、幼稚園でも食べることの重要性が再認識され、幼稚園教育要領の中でも食生活の乱れ、子どもが一人で食べる孤食や偏食の問題などに課題があると「健康」の領域の中で、食への興味を育てることが明記されました。

幼小の連携を考え、園児が小学校の家庭科室にて、親子で料理を楽しみ“食べること”への関心が深められたらと実施しました。



対 象 幼稚園児とその保護者
場 所 小学校家庭科室
内 容 祭り寿司「ばらの花」
持ち物 エプロン（園児はスモッグでも可）
三角巾（バンダナ） 食器ふきん
お茶 まきす（ある方）

【材料（1本分）】

- すしめし
白…250g 桃色…60g
※ 桃色は、桜でんぱんや市販の色づけ用の花すしの素等を使用
- 薄焼きたまご…2枚
- のり 全形…1枚 1/4…1枚 1/6…1枚
- きゅうり…1/8~1/10 3本
- 紅しょうが（千切り）…30g



すしめし

米 3合
砂糖 35g（大さじ4杯と半分）
酢 70cc
塩 9g（小さじ2杯弱）
★水は酢の量も含めて加減する。

紅生姜の代わりにハムや紅梅かんぴょうを千切りしたものでもよい。
「葉」の部分は季節の野菜類や漬物でもおいしい。

【作り方】

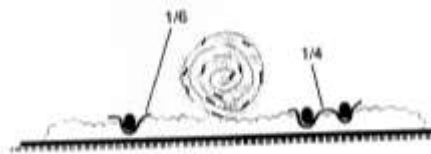
① 塩一つまみを入れた卵 1 個をよくかきまぜて薄焼き卵を 2 枚焼く。
(26～28cmのフライパン使用)

② 千切りにした紅しょうがは、ペーパータオルで余分な水気をとって
おく。

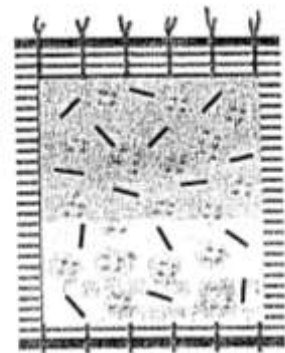
③ 巻きすの上に薄焼き卵を置き、桃色のすしめし 30g と紅生姜 15g
をパラパラと散らし、手前からしっかり巻き込む。

④ もう一枚の薄焼き卵にも同様に具をちらし、③を手前に置き、
巻き込む。これが、ばらの「花」の部分になる。

⑤ 巻きすの上にのり（全形）1 枚を縦長におき、すしめし約
200g を広げ、図のように 1/6 と 1/4 ののりを置き、さ
い箸で凹みをつ
ける。



⑥ それぞれの凹みにきゅうりを入れる。これが「葉」になる。中央
の空いているところに④の「花」を置き、巻きすごと縦位置に持
ち替え、左右から巻き込み、残りのすし飯を補いながら巻き上げ
る。1 本を 7 個に切る。



【留意事項】

- 最初に、栄養教諭から料理の手順を全体に話す。
- 幼児用の包丁を用意し、包丁の使い方について事前に話をする。
- 使用する食材に食物アレルギーがある場合は、事前に把握しておき、代替品を準備する。

【園児の感想から】

- ☆ きるのが むずかしかった。
- ☆ たのしかった。おいしかった。
- ☆ まきすで まいているところが うまうまいった。
- ☆ ごはんを のりの うえに ならべるのが むずかしかった。

小学校 地元シェフ ビストロ足田さんによるフランス料理親子料理教室

実施日 2月 5日(土) 豊島小学校
3月12日(土) 小曽根小学校

【メニュー】

- ☆ハートのレアチーズケーキ
- ☆大阪産野菜のスープ



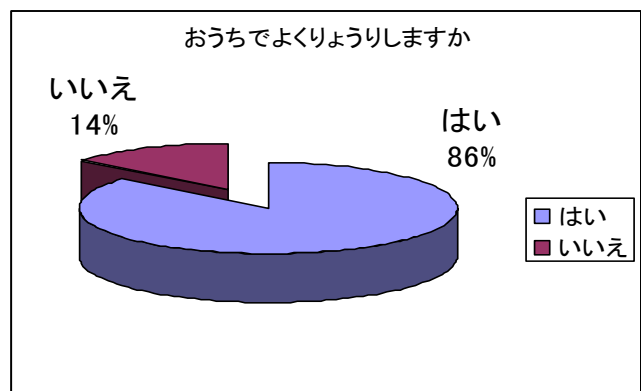
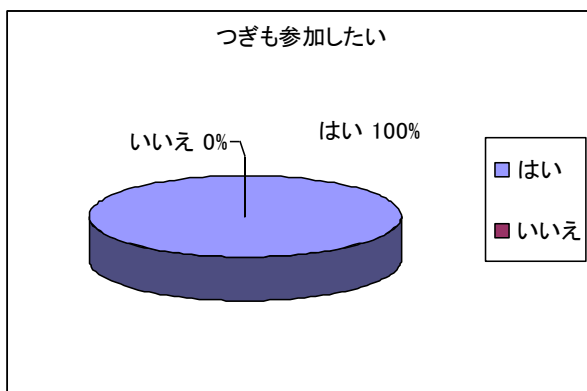
【参加者の感想から】

- 子どもと一緒に料理を楽しめました。
- 子どももできる簡単な料理なのに、味は、レストランの味で感動がありました。
- 料理をするだけではなく、きちんと食事としても楽しめました。
- わかりやすい説明とレシピで、各テーブルに、学生ボランティアさんもついてスムーズに料理ができました。
- 今日のように野菜、素材の味でおいしく料理できるレシピを教えてください、良かったです。
- 家では、ゆっくりと料理できないので、参加して良かったです。
季節ごとに料理教室をしてもらえると嬉しいです。
- たまねぎの火加減を見ながら、長い時間、いためるとたまねぎの味がでて、たいへんおいしい料理ができるとわかりました。

【子どもたちの感想】

- ☆おいしかった。ハートのレアチーズケーキのしたのビスケットがおいしかった。さくさくしてぶるんってしてて、ミネストローネもおいしかった。
- ☆とても楽しかったです。家でもつくってみたいと思います。
- ☆塩だけの味つけでここまでおいしくできるってすごいと思う。チーズケーキもおいしかった。
- ☆こういう料理はたべたことがなかったので、食べられてうれしかったです。

アンケートより(3月12日小曽根小学校)



中学校 わくわく食育「お弁当づくり中学生親子料理教室」

成長期の中学生にとってバランスのとれた食事は大切です。偏った栄養摂取や過度のダイエットなどを続けていると、健康障害を引き起こすことにもなります。

特に、お弁当は、一日の中で活動量の多い中学生にとっては大切な食事です。

そこで、中学生、保護者の皆さんと一緒に、バランスの良い食事について、お弁当づくりのポイントなど栄養士さんからお話を聞いて勉強した後、おいしくて栄養満点のお弁当づくりをワイワイにぎやかに調理し、参加者全員でおいしくいただきました。

【実施時期・会場・参加人数】

①11月20日：豊中市立第十五中学校 ②12月18日：豊中市立第六中学校

③1月22日：豊中市立第十中学校 ④2月12日：豊中市立第十八中学校

○参加者合計53名（中学生19名、保護者31名、教職員3名）

○豊中地域活動栄養士会トゥディ延べ16名○相愛大学学生ボランティア延べ16名

お弁当づくりのポイント

- ① 自分に合ったサイズのお弁当箱を選ぶ
- ② 主食3：主菜1：副菜2の割合で
- ③ 料理が動かないようしっかり詰める
- ④ 同じ調理法のおかずを重ねない
- ⑤ 赤、緑、黄色を取り入れおいしそうな彩りに



今回のメニュー【はじめよう！おべんとうづくりの冊子から】

*ラップおにぎり *肉の野菜巻き *卵焼き

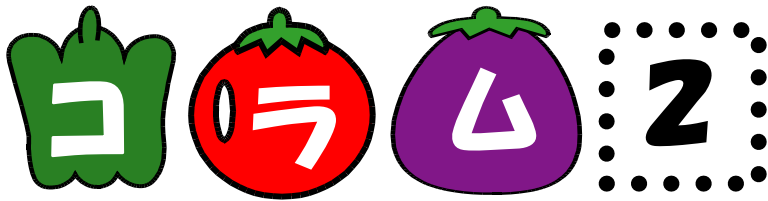
*ゆで野菜（ブロッコリー、アスパラ）

*きんぴらごぼう *かぼちゃのバター焼き ≪1人分のエネルギー671kcal≫



参加者の感想(アンケートより抜粋)

- ◆野菜の色どり・栄養を考えたお弁当づくりができた。
- ◆毎日のお弁当づくりの参考にしたい
- ◆レパートリーが増えた ◆親子で参加できて良かった
- ◆毎日のお弁当に愛情を注ぎたい！
- ◆ごぼうのささがきがピーラーでやると簡単にできた
- ◆初めての卵焼きが上手にできた
- ◆楽しかった ◆また参加したい！



「団塊塾とよなか」男性シニアクッキング



社会福祉協議会では「団塊塾とよなか」として、団塊の世代前後の方がセカンドライフを地域で豊かにすごしていただく為のきっかけとなるように、ボランティア講座等を開催しています。

平成22年度は、新たに男性のクッキング講座を通して団塊世代の新たな仲間作りの場となるよう取り組みました。

健康支援室と共催の「男性シニアヘルシークッキング教室」では、すこやかプラザの調理実習室を使用し、6月と3月に【手軽に作れるヘルシー料理】に挑戦しました。講師は地域活動栄養士会トッデイの方々にご協力いただき、参加者はどちらも定員の16名で、ほとんどが料理初体験の男性ばかり。みなさん1つずつ講師に確認しながら、熱心にお作られました。作った料理はみんなで感想を言い合いながら、おいしく頂き、最後は後片付けもしていただきました。「家でも料理してみたい」という感想も多く、団塊世代の男性が持つ料理への関心を改めて実感することができました。

また、7月には大阪ガスのご協力により、千里の大阪ガスクッキングスクールで「男性シニアクッキング」を開催し、30名の参加がありました。メニューは【ヘルシーな松花堂弁当】で、こちらも大変好評のうちに終わることができました。



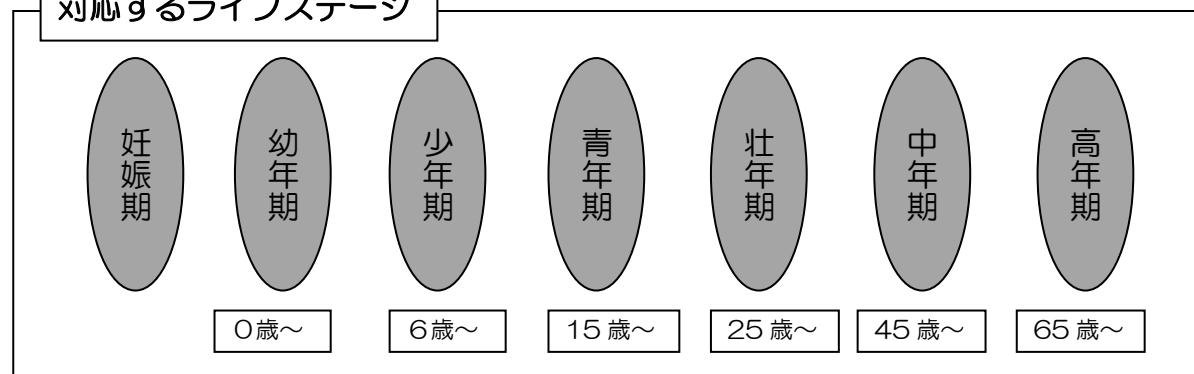
事業名称

図書館の特集展示「人生おいしく～食にかんする本～」

食育の視点での事業展開

連携（教育、保健）、全ライフステージへの展開

対応するライフステージ



関係する分野

教育 ・ 保健

対応する大目標

- I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう
- III おいしく、楽しく、食事をしよう
- V お口の健康を維持・増進しよう

ライフ ステージ	対応する年代別目標	対応する施策の展開
妊娠期	・ 食に関する知識や情報を積極的に習得しよう	①妊娠中の食生活などに対する支援
幼年期	・ いろいろな食材を食べよう ・ 歯みがきの習慣をつけよう	①基本的な生活習慣の大切さについての情報提供と啓発 ⑧歯科保健の推進
少年期	・ 食の大切さ、調理の方法を学ぼう	⑧学校、地域、行政などとの連携による食育の推進
青年期	・ 情報を正しく理解しよう	①食に関する知識の普及・啓発や情報提供
壮年期	・ メタボリックシンドロームの予防に取り組もう ・ 子どもに対しての食育に取り組もう	②食に関する知識の普及・啓発
中年期	・ 食育を伝えよう、広げよう	④食育を広げやすい環境整備
高年期	・ 何でもおいしく食べられる元気なお口で、健康な生活を送ろう	③健康状態にあった食育の推進

1. 目的

図書館は、各館が一つのテーマを取り上げて本を収集し、市内9つの図書館を順番に巡回する「特集展示」を企画・運営している。2008年に一度食育の展示を行った際は、図書館の所蔵資料のみの提供にとどまったが、今回は健康支援室と大阪府豊中保健所と協力し、布製ポスターやのぼり旗、多くの冊子やリーフレットを閲覧・配布し、食育に関する新しい情報や資料の提供を行った。

特集展示の方法として、テーマに沿った関連の資料を20冊リストにあげることと、そのリストに上げた資料を含む約50冊を館内の書架で展示した。リストは、展示時に配布できるよう印刷したほか、インターネット上からも検索できるようにした。

2. 主催 豊中市立の各図書館

3. 協力 健康支援室、大阪府豊中保健所

4. 展示した期間と場所

期 間	場 所
2010年9月1日～10月6日	高川図書館
10月7日～11月4日	千里図書館
11月5日～12月1日	服部図書館
12月2日～2011年1月12日	東豊中図書館
2011年1月13日～3月2日	岡町図書館
3月3日～4月7日	庄内図書館
4月8日～5月12日	蛍池図書館
5月13日～6月17日	庄内幸町図書館
6月18日～7月24日	野畑図書館

5. 配布物及び展示したもの

●配布物	●展示物（ただし、館によっては、スペースの関係で展示していない物もある）
【図書館作成】 ・特集展示のチラシ 【協力機関から譲渡されたリーフレット】 ・ママの食と健康ガイド ・葉酸を上手にとりましょう ・かんたん健康食生活 ・食事バランスガイド ・健康おおさか21（4×4） ・簡単レシピ集 ・大阪府食育推進計画 ・野菜バリバリ元気っ子 ・朝食モリモリ元気っ子 ・おおさか伝承の味	【図書館作成】 ・特集展示用看板（A3サイズ） 【協力機関から期間中借りたもの・もらったもの】 ・食事バランスガイド（大きい布製ポスター） ・豊中市食育ののぼり ・豊中市食育の布製旗 ・大型絵本「やさいだいすきげんきっこ」 ・直ソーパズル（さかな編・やさい編）

5、考察

企画展示で「食育」を行ったことで、図書館に来られる利用者の方に、食育の基礎知識や豊中市が推進している食育推進計画のことを知ってもらうきっかけになったと思う。それが、市内に点在する全ての図書館で巡回展示をすることで、全市的な取り組みができた。今後も、他の部署と連携を図りながら、さまざまな行事や展示の企画を積極的に行い、「地域の知の起点」としての役割を果たしていきたい。

展示の様子（写真）



パパ(りよく)を鍛えよう

パパも育児を！一子育てで孤立化するお母さんを救い出し、家族のきずなを深めよう。子どもと過ごす「育て＝育ち」の時間は、パパにとっても新しい気づきでいっぱいのはず。男親だからこそ教えられること、できること。パパの力を鍛え、余すところなく伝えていきましょう！

豊中の500冊

「豊中の500冊」とは、豊中で育った方、豊中に関わりのある方、豊中についての本など広範囲の特集ページで紹介された方の作品を中心に集めたものです。野畑図書館には常設コーナーがありますが、その他の各館にはそのリストを、ご用意しています。またホームページにもアップしますのでご覧ください。こちらはその一部です。

人生おいしく～食にかんする本～

豊中市は、食育推進のための計画目標をかげ、「食」は、人の生き方のものでもある」という視点から、心豊かな生活の実現をめざし様々な取り組みをしています。今回は健康支援室の協力で、食育に関する最新の情報や、市内での取り組みのニュースも紹介します。食べる物、食べ方を大切に、おいしくたのしく食事ができる、ヒントがいっぱい詰まっています。

昭和大旅行

あの頃の「昭和」、懐かしい「昭和」、初めて出会う「昭和」、知らなかった「昭和」、いろんな「昭和」が揃っています。本で旅する「昭和大旅行」。あわせて図書館HP「北摂アーカイブス」もどうぞ。
(「豊中と真夏の昔と今」を写真でご覧いただけます。)

クラシック音楽を“読む”

聴いているだけではわからない、作曲家、演奏家、名曲のあれこれ。クラシック音楽の新しい聴き方の始まりです。

関西が好き

関西に暮らしていても案外知らないことも多いのではないのでしょうか。関西の文化、関西弁、愛すべき大阪のおばちゃん、関西ゆかりの作家たち、関西を舞台にした文学・・・関西をたっぷりご覧ください。

学舎(まなびや)始めます

それがどんなきっかけだったとしても、何か新しいことを始めようと思いつくことが誰にでもあると思います。学校はずっと前に卒業したけれど・・・ひとり机のまえに座って、いまだ知らない分野の本をひらくとき、おそらく、そこからわたしの学舎(まなびや)がはじまります。

鉄道の魅力

「鉄子」に「掘り鉄」「車両鉄」「食べ鉄」、果ては「葬式鉄」(ラストランを見届け)。いろいろな名称がある鉄道ファン。誕生から今日まで古今東西で人々を魅了してきた鉄道について書かれた本もたくさんあります。すでにダイブな世界にハマっている人もそうでない人も、身近にある鉄道の世界をのぞいてみませんか。

豊中市立図書館の特集展示 2010年9月～

色んなテーマで本をあつめ、市内各図書館を巡回、展示しています！

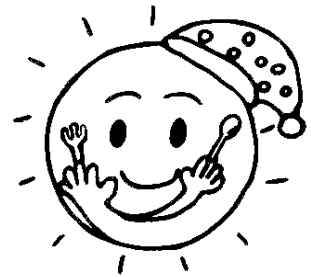


「経済」は面白い！

「経済」と聞くと、なにを思い浮かべるでしょうか？経済学という言葉から、むずかしい理論と考える人もいでしょうし、新聞の紙面から、貿易や株式相場を連想する人もいでしょう。しかし、経済を一言で説明すると「世の中のお金の動きすべて」です。私たちが本を賣ったり、レストランで食事をするのも経済活動の一部なのです。わかりやすい経済の本を集めてみました。

← 特集展示のチラシ ↓

人生おいしく ～食にかんする本～



豊中市食育推進計画シンボルマーク

2008年に特集した「食の安全・食育の本」がパワーアップして再登場！

豊中市は、食育推進のための計画目標をかげ、「食」は、人の生き方のものでもある」と

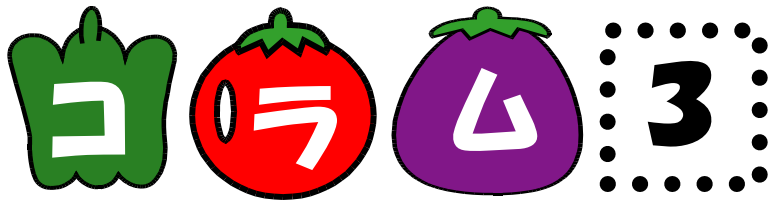
という視点から、心豊かな生活の実現をめざし様々な取り組みをしています。

今回は健康支援室の協力で、食育に関する最新の情報や、市内での取り組みのニュースも紹介します。

食べる物、食べ方を大切に、おいしくたのしく食事ができる、ヒントがいっぱい詰まっています！

書名	著者名	出版社	出版年
いつまでもきれいな歯の健康		SSコミュニケーションズ	1999
いのちをいただく	内田 美智子	西日本新聞社	2009
おひさまパン	エリサ・クレヴェン	金の星社	2003
家族で食育!朝ごはん 1～5	服部 幸應/監修	岩崎書店	2007
キッズ・キッチン	坂本 廣子	かもがわ出版	2007
元気で賢い子どもになる食育レシピ100	牧野 直子/監修	成美堂出版	2008
ココロとカラダを育てる食事	鈴木 雅子	フレーベル館	2000
子どもがつくる旬の料理 1～2	坂本 広子	クレヨンハウス	2003
子どもと楽しむ食育あそびBEST34&メニュー	グループこんべいと/編著	黎明書房	2005
子どもに伝えたい食育歳時記	新藤 由喜子	ぎょうせい	2008
ごはん力!	岸 朝子	マガジンハウス	2007
食を育む	師岡 章/総監修	フレーベル館	2006
「食育」の大研究	吉田 隆子/監修	PHP研究所	2008
0～5歳児の食育	岡崎 光子/監修	チャイルド本社	2006
なぜ、子どもはピーマンが嫌いなのか?	幕内 秀夫	西日本新聞社	2010
はしのもちかた	小永井 道子	偕成社	1983
はじめよう!楽しい食育 1～7	日本食育学会/監修	金の星社	2008
むしばミュートランスのぼうけん	かこ さとし	童心社	1980
メタボリックシンドローム	山下 静也/総監修	日本放送出版協会	2008
やっぱり美味しい!自然食のおやつ	五来 純	アートヴィレッジ	2008

(展示資料の一部です) 豊中市立図書館



クッキング保育での子どもたちのつぶやき



その1 パパ・ママありがとう♪
(3歳児)



保育所・園では、日々の保育の中で食育に取り組んでいます。子どもたちは、ふとしたことに感動したり、ちょっとしたきっかけで、大人には想像できないような考えを繰り広げてくれたりします。クッキング保育で見てくれた、子どもたちの微笑ましい姿をご覧ください。





その2 きりん組さん(5歳児)は
ハサミで人参も切れるんだあ!?(3歳児)



その3 お米のとぎ汁って栄養満点♪
(5歳児)



イラスト協力：松浦知恵子



2 推進計画の数値目標の達成状況（意識調査）

豊中市食育推進計画の進行管理に向け、市民の意識を調査するために、平成23年（2011年）3月に食育アンケート調査を行いました。その概要についてご報告します。

□ 調査の実施状況

①幼年期（0～6歳）

対象者	平成23年3月の離乳食講習会・幼児食講座参加者
方法	参加時に配布・回収
有効回答数	101件

②青年期・壮年期・中年期・高年期

（青年期：15～24歳、壮年期：25～44歳、中年期：45～64歳、高年期：65歳以上）

対象者	平成23年3月の胃がん検診・市民健康診査受診者
方法	検診時に配布・回収
有効回答数	青年期・壮年期・中年期 63件、高年期 40件

（参考）

豊中市食育推進計画策定のためのアンケート調査（平成19年7～8月実施）の有効回答数

	有効回答数	対象者
幼年期	1,357件	・乳幼児健診対象児（4か月、1歳6か月、3歳6か月）の保護者 ・公私立幼稚園年長児、保育所・保育園年長児の保護者
少年期	1,538件	・小学校6年生とその保護者 ・中学校3年生とその保護者
青年期・壮年期・中年期	1,872件	・豊中市内在住の15～64歳の人
高年期	1,585件	・豊中市内在住の65歳以上の人

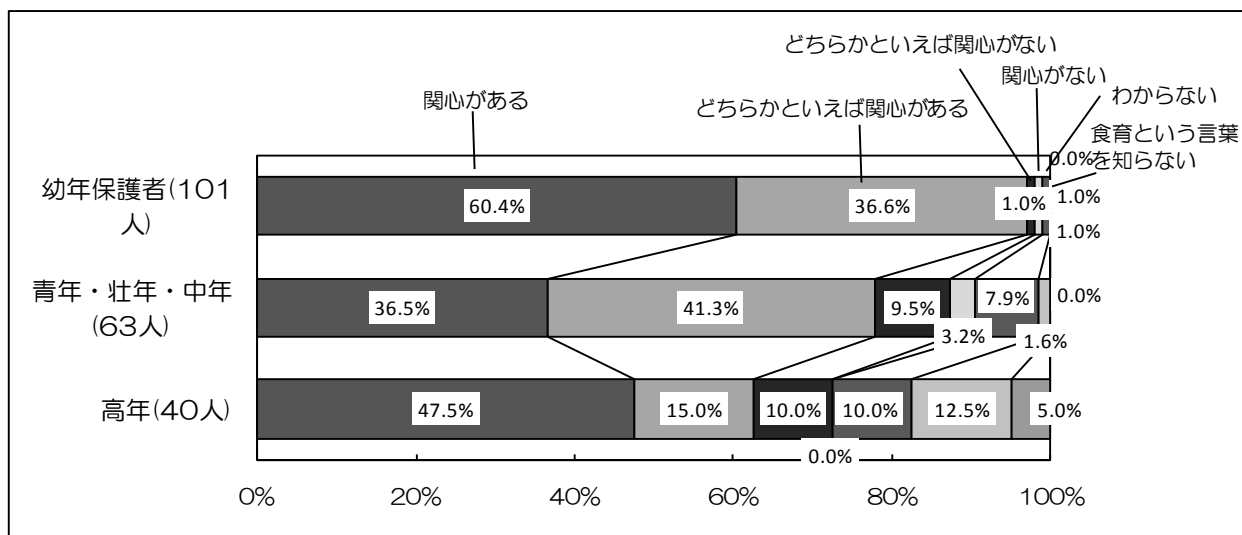
□ アンケートまとめ

「第2次食育推進基本計画」（平成23年度から27年度まで）が国で策定されました。この中で、“家庭における共食を通じた子どもへの食育の推進”が重点課題の1つとして挙げられ、“朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加”が目標の1つに挙げられています。豊中市でも、平成25年度からの新しい食育推進計画策定の準備をすすめているところですが、その一つとして、今回のアンケートでは「共食」について新たな設問を加えました。

35ページにもあるように、ほとんどの人が、「家族と一緒に食事をするのが楽しい」と答え、「家族と一緒に食事をするのが楽しい」と思う人の方が、より、「家族と食事をするためにスケジュールを調整しようと思う」と答えました。一方で、「夕食のときに家にいる人全員で食事をする」のはなかなか難しいという結果も出ています。食を通じたコミュニケーションは、食の楽しさを実感させ、精神的な豊かさをもたらします。特に幼年期・少年期は、箸の持ち方や食事のマナーなどを学ぶ機会にもなります。様々な家庭の事情を考慮に入れつつ、「誰かと一緒に食事をしたい」という気持ちを形にできるよう、特に子どものいる家庭に向けて情報提供をしていきたいと思えます。

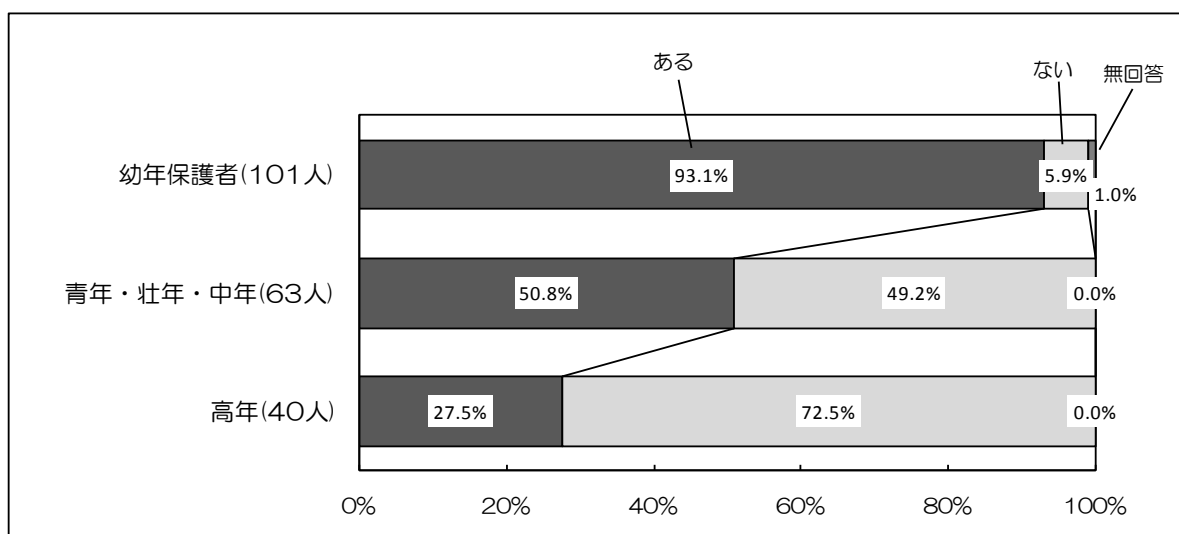
□ 食育への関心度

食育に関心を持っている人は、「食育に関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせると、幼年保護者で97.0%（H21：94.1%）、青年・壮年・中年で77.8%（H21：83.7%）、高年で62.5%（H21：81.9%）となっています。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「食育に関心を持っている人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では幼年保護者 90.4%、青年・壮年・中年 85.5%、高年 71.7%でした。



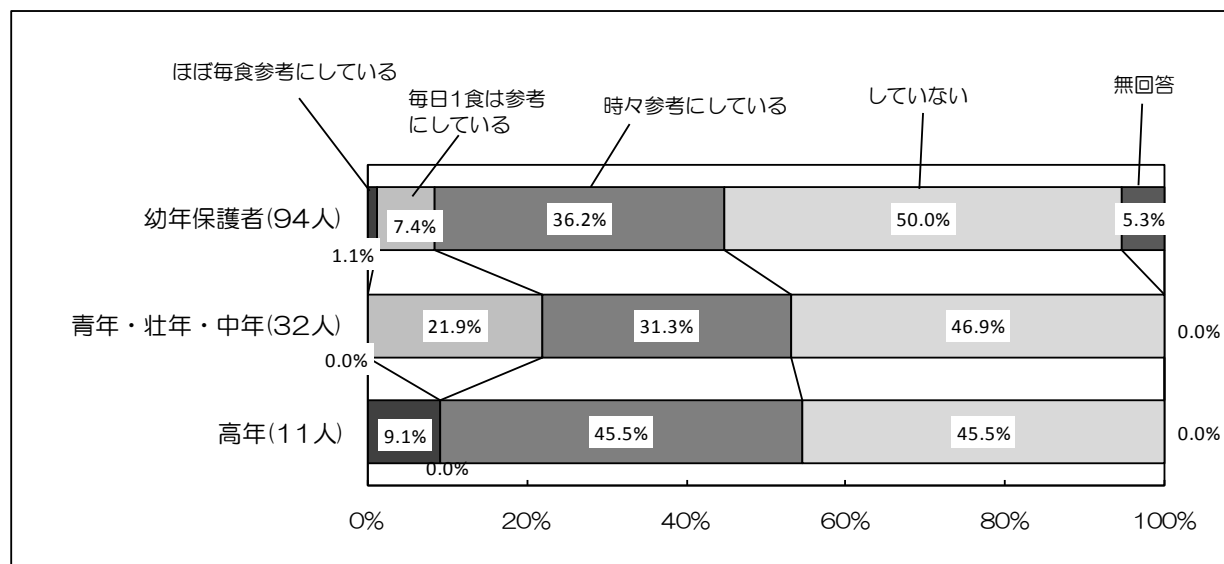
□ 食事バランスガイドの認知度

食事バランスガイドの認知度をみると、「(みたことが) ある」は幼年保護者で93.1%（H21：94.1%）、青年・壮年・中年で50.8%（H21：51.9%）、高年で27.5%（H21：37.7%）でした。計画策定時のアンケート調査では、幼年保護者 72.0%、青年・壮年・中年 51.4%、高年 44.5%でした。



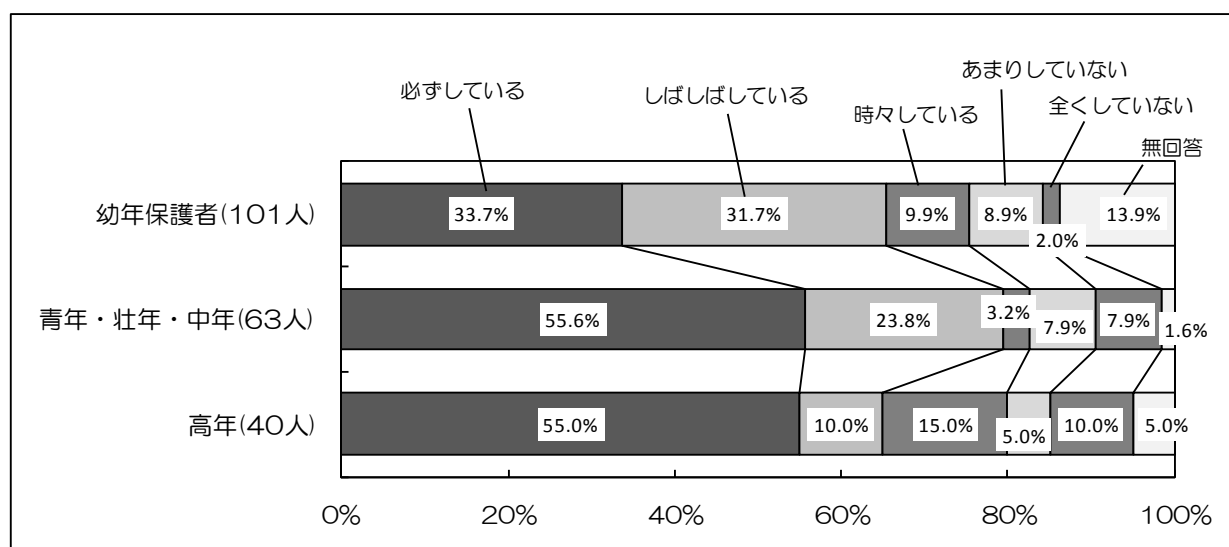
□ 食事バランスガイドの活用度

食事バランスガイドの活用度をみると、「ほぼ毎食参考にしている」と「毎日1食は参考にしている」を合わせると、幼年保護者で8.5%（H21：5.3%）、青年・壮年・中年で21.5%（H21：8.9%）、高年で9.1%（H21：36.9%）でした。食事バランスガイドを、「見たことはあるが活用していない」人が多い結果となっています。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「食事バランスガイドなどを参考に食生活を送っている人の増加」（「ほぼ毎食参考にしている」と「毎日1食は参考にしている」の合計）があり、24年度に60%が目標となっています。



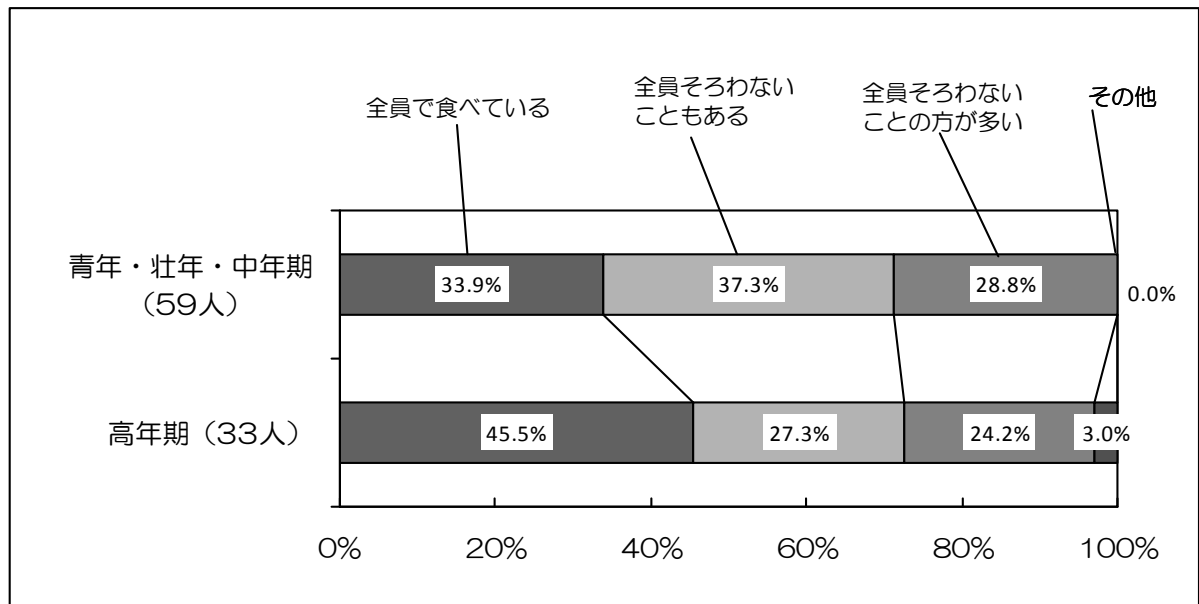
□ 食べ残しを減らす努力

食べ残しを減らす努力を「必ずしている」人をみると、幼年保護者で33.7%（H21：29.4%）青年・壮年・中年で55.6%（H21：65.9%）、高年で55.0%（H21：48.0%）となっています。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「食べ残しを減らす努力を必ずしている人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では青年・壮年・中年50.2%、高年55.3%でした。昨年同様、幼年保護者は他の世代に比べて低い傾向がみられました。



□ 孤食の状況

2人以上で住んでいる人について、夕食を家にいる人「全員で食べている」人は、青年・壮年・中年で 33.9%、高年で 45.5%となっています。豊中市食育推進計画の数値目標に、「夕食時に家にいる人全員で食事をしている人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では青年・壮年・中年で 33.9%、高年で 58.5%でした。



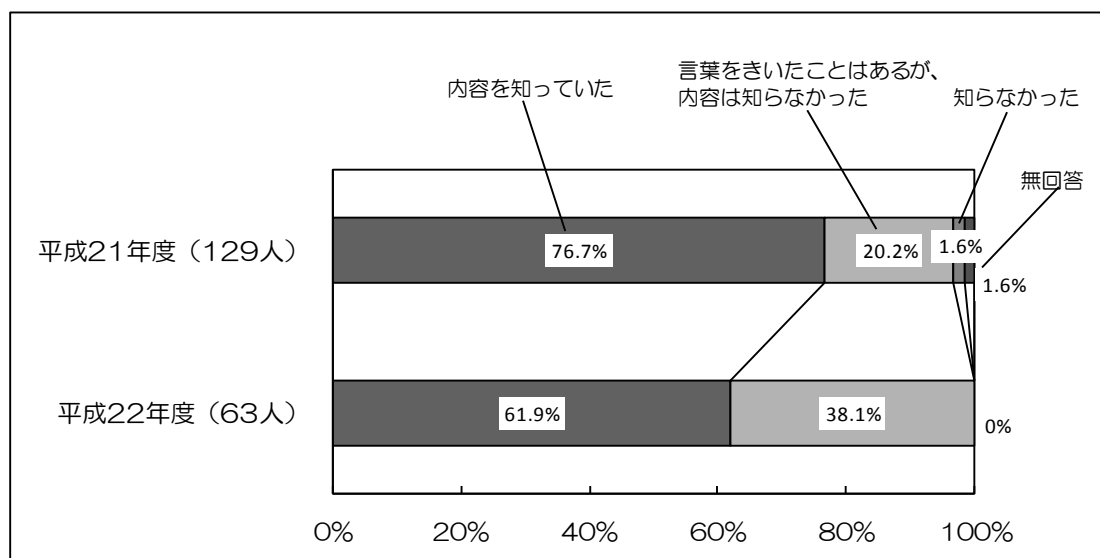
□ 共食したいかどうか

家族と一緒に食事をするのが楽しいと思う人（「とてもそう思う」と「そう思う」の合計）は、全体の 95.2%でした。また、家族と食事をするのが楽しい、と思う人の方が、家族と食事をするためにスケジュールを調整しようと思う傾向にありました。

家族と食事をするために自分のスケジュールを調整しようと思う						
は家族と一緒に食事をするこ 楽しい	全体:一人暮らしを除く 188 人の集計	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
	とてもそう思う	38.3%	27.1%	5.9%	0.5%	1.1%
	そう思う	1.1%	13.3%	6.4%	1.6%	0 %
	どちらともいえない	0 %	1.6%	1.1%	1.6%	0 %
	あまりそう思わない	0 %	0.5%	0 %	0 %	0 %
	全くそう思わない	0 %	0 %	0 %	0 %	0 %

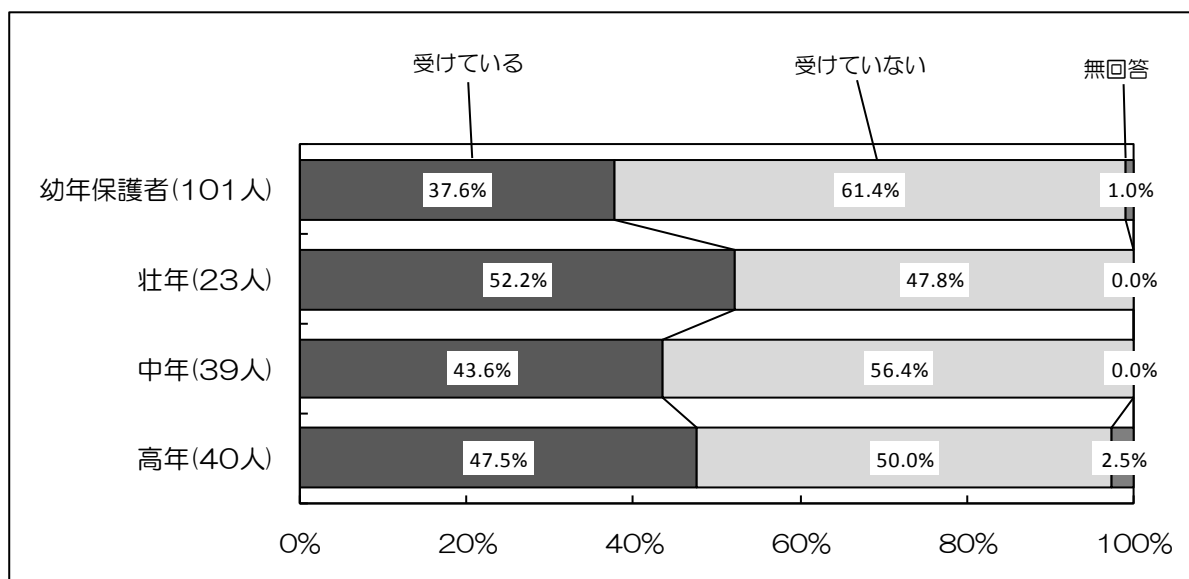
□ メタボリックシンドロームの認知度

青年・壮年・中年期におけるメタボリックシンドロームの認知度をみると、「内容を知っていた」が61.9%（H21：76.7%）、「知らなかった」が0%（H21：1.6%）と、今回のアンケートでは、全員がメタボリックシンドロームという言葉聞いたことがあるものの、内容を知らない人が多い結果となりました。豊中市食育推進計画の数値目標に、「メタボリックシンドロームを認知している人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では「内容を知っていた」が78.8%、「知らなかった」が4.0%でした。



□ 定期的な歯科健診の有無

定期的な歯科健診の受診状況をみると、「受けている」は幼年保護者で37.6%（H21：41.2%）、壮年で52.2%（H21：47.2%）、中年で43.6%（H21：62.4%）、高年で47.5%（H20：52.8%）となっています。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「定期的な歯科健診を受けている人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では青年で28.1%、壮年で35.6%、中年で43.4%、高年で46.4%でした。



平成 22 年度(2010 年度)食育アンケート (幼年期)



このアンケートは、食育の推進のため市民の皆様の「食育」への意識等を知るために行います。このアンケート結果は食育推進の目的以外に使うことはありません。ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

問 1 「食育」に関心がありますか。【1 つだけに○】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 関心がある | 2 どちらかといえば関心がある |
| 3 どちらかといえば関心がない | 4 関心がない |
| 5 わからない | |

問 2 食事の望ましい組み合わせとおおよその量を示したコマ型のイラスト「食事バランスガイド」(右図)を見たことがありますか。【1 つだけに○】

- | | |
|------------|------------|
| 1 ある→問 3 へ | 2 ない→問 4 へ |
|------------|------------|



問 2 で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

問 3 「食事バランスガイド」を参考にしてメニューを考えたり、選んだりしていますか。【1 つだけに○】

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 ほぼ毎食参考になっている | 2 毎日 1 食は参考になっている |
| 3 時々参考になっている | 4 していない |

問 4 お子さんが食事をする時には、大人も一緒に食べますか。【1 つだけに○】

- | | | |
|------|-------|------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 まだ食べていない |
|------|-------|------------|

問 5 食べ残しを減らす努力をしていますか。【1 つだけに○】

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1 必ずしている | 2 しばしばしている | 3 時々している |
| 4 あまりしていない | 5 全くしていない | |

問 6 お子さんの噛む力にあわせた食事を心がけていますか。【1 つだけに○】

- | | | |
|------|-------|------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 まだ食べていない |
|------|-------|------------|

問 7 あなたは定期的な歯科健診を受けていますか。【1 つだけに○】

- | | |
|---------|----------|
| 1 受けている | 2 受けていない |
|---------|----------|

問 8 次の①～②のそれぞれについて当てはまるものを 1 つずつ選んで○してください。

	(ア) とても そう 思う	(イ) そう 思う	(ウ) どちら とも いえ ない	(エ) あまり そう 思わ ない	(オ) 全く そう 思わ ない
①家族と一緒に食事することは楽しい					
②私は、家族と食事をするために自分のスケジュールを調整しようと思う					

問 9 あなたの年齢・性別をお答えください

_____ 歳 女 ・ 男

ご協力ありがとうございました

豊中市健康福祉部健康支援室



平成 22 年度(2010 年度)食育アンケート

問 1 「食育」に関心がありますか。【1つだけに○】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 関心がある | 2 どちらかといえば関心がある |
| 3 どちらかといえば関心がない | 4 関心がない |
| 5 わからない | 6 食育という言葉を知らない |

このアンケートは、食育の推進のため市民の皆様の「食育」への意識等を知るために行います。このアンケート結果は食育推進の目的以外に使うことはありません。ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

問 2 食事の望ましい組み合わせとおおよその量を示したコマ型のイラスト「食事バランスガイド」(右図)を見たことがありますか。【1つだけに○】

- | | |
|------------|------------|
| 1 ある→問 3 へ | 2 ない→問 4 へ |
|------------|------------|



問 3 問 2 で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

「食事バランスガイド」を参考にしてメニューを考えたり、選んだりしていますか。【1つだけに○】

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 ほぼ毎食参考になっている | 2 毎日 1 食は参考になっている |
| 3 時々参考になっている | 4 していない |

問 4 「メタボリック・シンドローム」(裏面参照)を知っていますか。【1つだけに○】

- | | |
|------------|--------------------------|
| 1 内容を知っていた | 2 言葉をきいたことはあるが、内容は知らなかった |
| 3 知らなかった | |

問 5 朝食を食べますか。【1つだけに○】

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1 週に 6、7 日食べる | 2 週に 4、5 日食べる | 3 週に 2、3 日食べる |
| 4 週に 1、2 日食べる | 5 食べない | |

問 6 食べ残しを減らす努力をしていますか。【1つだけに○】

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1 必ずしている | 2 しばしばしている | 3 時々している |
| 4 あまりしていない | 5 全くしていない | |

問 7 あなたは定期的な歯科健診を受けていますか。【1つだけに○】

- | | |
|---------|----------|
| 1 受けている | 2 受けていない |
|---------|----------|

2 人以上でお住まいの方にお聞きします。

問 8 夕食の時、家にいる人全員で食事をしますか。【1つだけに○】

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 全員で食べている | 2 全員そろわないこともある |
| 3 全員そろわないことの方が多い | 4 その他 () |

問 9 次の①～②のそれぞれについて当てはまるものを 1 つずつ選んで○してください。

	(ア) とても そう 思う	(イ) そう 思う	(ウ) どちら とも いえ ない	(エ) あまり そ う 思 わ な い	(オ) 全 く そ う 思 わ な い
①家族と一緒に食事をするのは楽しい					
②私は、家族と食事をするために自分のスケジュールを調整しようと思う					

問 10 あなたの年齢・性別をお答えください

_____ 歳 女 ・ 男

ご協力ありがとうございました

豊中市健康福祉部健康支援室



3 各事業の進行状況

- 1、行政の取り組み
- 2、教育・保育の取り組み
- 3、地域社会の取り組み

「今後の方向性」欄の記号の見方

- ◎ → 充実：今後さらに積極的に取り組む予定
- → 継続：今後も同様に取り組む予定
- △ → 縮小：規模などを縮小して今後も取り組む予定
- → 廃止：22 年度で終了するもの
- 完 → 完了：単年度事業、期間の決まっている事業など、当初の予定どおり 22 年度で終了するもの

《所管別索引》

(順不同)

総務部	広報広聴課	【行政 1・9・53・102】
人権文化部	人権政策室	とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ【地域 6・7・32】 豊中人権まちづくりセンター【行政 15・46・47・48】
環境部	環境政策室	【行政 43・64・65・111・123】
	公園みどり推進課	【行政 108・地域 27・28・29・30・34・35】
	減量推進課	【行政 66】
市民協働部	コミュニティ政策室	【行政 109・110】
	消費生活課(くらしかん)	【行政 2・3・4・10・67・68・69・70・71・72・112】
健康福祉部	地域福祉室	【行政 12・16】
	障害福祉課	【行政 6・17・18・19・49・50・51】
	高齢者支援課	【行政 73】
	健康支援室	【行政 7・8・13・20・21・22・23・24・25・26・27・28・29・30・33・34・ 52・61・74・75・76・77・78・79・80・81・82・83・84・85・90・103・ 104・105・113】
	保険給付課	【行政 32】
こども未来部	こども政策室	【行政 39】
	保育幼稚園室	【行政 5・11・35・36・37・38・40・44・45・54・86・114・124・ 教育保育 1・9・12・13・14・15・17・28・29・30・35・36・37】
	保育所・園	【教育保育 1・3・6・10・11・15・16・22・23・24・25・33・34】
	市立幼稚園	【教育保育 10・14・22・29・38】
	あゆみ学園	【教育保育 1・3・6・11・16・22・33】
	しいの実学園	【教育保育 1・3・6・16・22・33】
市立豊中病院	看護部	【行政 42】
	栄養管理部	【行政 41・87・88・89・91】
	緩和ケアチーム	【行政 92】
	糖尿病センター	【行政 90】
上下水道局	経営企画課	【行政 101】
教育委員会	学校給食室	【教育保育 3・4・5・8・18・19・20・21・34・42】
	教育推進部	教育推進室【教育保育 9・26・27・39・40】 文化館チーム【行政 93・94】
	生涯学習推進部	地域教育振興室【行政 60・62・125】 読書振興課 岡町図書館【行政 14】 中央公民館【行政 95・117・118】 庄内公民館【行政 97・98・117・118】 蛭池公民館【行政 96・117・118】 千里公民館【117・118】 スポーツ振興課【行政 99】 青少年育成課【行政 55・56・57・58・59・115・116】
	小学校	【教育保育 6・15・16・20・22・33】
農業委員会事務局		【行政 63・100・119・地域 36】
豊中保健所		【行政 106・107・120・121・122・126・127・教育保育 27】
社会福祉協議会		【行政 12・124・地域 1・2・3・4・10・11・12・33】
校区福祉委員会		【地域 3・4・11・12】
民生・児童委員		【地域 3】
NPO 法人市民環境会議アジェンダ		21【行政 64・108・123・地域 27・28・29・30・31・34・35】
豊中市農業経営者協議会		【行政 100】
NPO 法人とよなか市民活動ネット		きずな【行政 109】
豊中私立幼稚園連合会加盟幼稚園		【教育保育 2・7・13・15・16・22・31・32・41】
豊中市民間保育園連合会加盟保育園		【教育保育 10・15・31】
老人クラブ連合会		【地域 5・13・14・15】
健康づくり推進員会		【地域 8・9】
財団法人豊中市医療保健センター		【地域 16】
豊中市学校歯科医会		【地域 17・18・19】
(社)豊中市歯科医師会		【地域 18・19・20・21・22・23・24】
豊中地域活動栄養士会トゥディ		【地域 25】
とよなか消費者協会		【地域 26・36】
豊中市小売商業団体連合会		【地域 26】
市民レングまつり実行委員会		【地域 37】
桜井谷あおぞら朝市運営委員会		【地域 38】

1. 行政の取り組み

事業等	所管	新規に *印刷	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
1 広報とよなか	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	月1回発行。全世帯と全事業所に配布しています。市の各種施策や事業計画、福祉、環境、文化・スポーツなど市民に必要な情報を提供しています。	発行部数2,251,500部 (詳細) 食育関連お知らせ記事 年間12件 (11月号・「食育スタディーデー みんなで収穫祭」、3月号・「なん でも調査隊・お弁当作り」など)	主に食育に関する催しの告知を実施しています。市民の参加を促すことで、食への関心を高めてもらいたい。	○
2 技術・家庭科副読本「くらしのノート」	消費生活課 (くらしか ん)				●					消費者教育資料集(技術・家庭科副読本)「くらしのノート」を作成し、学校現場で活用を推進しています。豊中市食育推進計画に関する記述あり。	市内在学の小5年生、中学1年生に配布 小学生版4,400部 中学生版4,300部発行	資料集として継続して発行。中学生版は、消費生活の内容のみに改訂しました。	○
3 生活関連物資課題調査	消費生活課 (くらしか ん)		●	●	●	●	●	●	●	(とよなか消費者協会に委託)食料品、日用品等の生活関連物資について、年2回テーマを決め市場調査を行っています。	年2回実施 調査内容「食用塩の品質表示などの調査」「さんまの鮮度調査」等	引き続き、調査結果を情報発信し、食に関する情報を伝えていきたい。	○
4 くらしの情報	消費生活課 (くらしか ん)		●	●	●	●	●	●	●	消費生活情報誌「くらしの情報」を発行し、くらしかん及び市内公共施設で配布しています。	A4判8頁。3,000部発行/回 点字版B5判両面20枚。11部発行/回 各年4回	食に関する情報について発信する場として活用していきたい。	○
5 情報誌等の発行	保育幼稚園室		●	●						妊娠がわかってから就学前までの子育て情報を掲載した「子育てサービスガイド」、公立保育所・民間保育園・子育て支援センターの情報を掲載した「子育てマップ」で「てくてく」を発行し、離乳食講座・食の講座の情報を提供しています。	子育てサービスガイド10,000部 ”てくてく” 25,000部	講座などの食育に関する情報を発信する場として活用していきたい。	○
6 給食の献立表と給食だよりの配布	障害福祉課					●	●	●		栄養士による食育に関する情報を掲載しています。	毎月1回	食育に関する情報を発信する場として活用していきたい。	○
7 いきいきシニアのためのお口の健康づくりハンドブック	健康支援室	*							●	「食」を支えるお口の健康づくりに役立つ情報を提供しています。	約1,800冊配布。	当初予定より多くの反響があり、高齢者へ身体の健康づくりとともに口腔の健康づくりの大切さについて啓発することができました。	○
8 食育情報ハンドブックの発行	健康支援室	*							●	生涯を通じて食育の実践を目的としたハンドブックを発行しました。	3,000部発行	23年度に配布します。	完

(1. 行政の取り組み)

映像	事業等	所管	新規に *印刷	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	22年度実施状況	考察	今後の 方向性
インターネット	9 ケーブルテレビ番組「かたらいブラザ」	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	市広報番組「かたらいブラザ」を企画・制作し、ケーブルテレビで放送しています。	年間52本放送(うち食育関連コーナー3件) (詳細) 6月放送特集「6月は食育月間『教えて幼児のお弁当』」 7月放送特集「食育を支える活動・花と緑のネットワーク・とよなか」他1件	今後も定期的に番組で取り上げ、食や生活リズムについての理解を深めてもらいたい。	○
	10 くらしのホームページ	消費生活課 (くらしかん)		●	●	●	●	●	●	●	平成14年度に生活情報関連システム(くらしネット)を大幅に見直し、くらしかんホームページ(くらしネット)により、消費生活情報を提供しています。	平成20年度より市ホームページの一部に入り形式がリニューアルしましたが、引き続き消費生活情報を提供しています。	食に関する情報について活用したい。	○
	11 子育て支援ホームページの充実	保育幼稚園室		●	●						豊中市ホームページにおいて、子育てに関するさまざまな情報を公開するとともに、最新情報を定期的に更新しています。	年24回更新	講座などの食育に関する情報を発信する場として活用していきたい。また豊中市公式携帯サイトからも情報発信しています。	○
	12 ふくしねっと とよなか	地域福祉室 社会福祉協議会		●	●	●	●	●	●	●	豊中市の福祉や健康に関する行政サービス情報はじめ、ボランティアなどの地域福祉活動情報、介護保険や福祉関連の民間事業者情報などを市のホームページに掲載しています。	平成22年度アクセス数 288,938	市民への情報提供の場として、継続する必要がある。	○
図書	13 ホームページ「健康食生活応援」	健康支援室		●	●	●	●	●	●	●	健康づくりを支援する環境づくりを目的に平成18年6月に立ち上げ、生活習慣病予防のためのメニューの提供等を行っています。	食育に関する講座等のご案内を随時行ないました。	食に関する情報を発信する場として活用していきたい。	○
	14 関連資料提供、読書振興	岡田図書館		●	●	●	●	●	●	●	①食育に関する図書や資料・情報の収集と提供・相談を行っています。 ②食育への関心を深めていくため関連資料の展示などを行っています。	「食育 人生おいしく～食にかんする本」というテーマで食育のほり、食事バランスガイド掛図などを用い、食育関係資料の展示を実施。市内全9館を巡回展示しました。その他、野畑図書館で「ごはんもたけておかずもできて～「食」に関するあれこれ」の館内展示。服部図書館で「野菜の本」の展示の際に食育の本もあわせて展示しました。	今後も食育に関する情報を様々な形で提供していきたい。	○

(1. 行政の取り組み)

相談 対応 ・ 指導	事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
15	子育て・教育相談	豊中人権まち づくりセン ター		●							①子どもに関する相談全般を行っている す。 ②学校、家庭、地域における生活の相談事 の解決を支援しています。	相談回数 612回 相談者数 747人	食に関することも含め、幅 広い相談支援を行っていま す。	○
16	福祉なんでも相談窓口	地域福祉室		●					●		(社会福祉協議会に委託) 校区の福祉委員会と民生・児童委員が連携 して「福祉なんでも相談」を実施していま す。	平成23年4月時点で36か所にて開 設	各校区の相談窓口として今 後も必要です。	○
17	給食時の指導	障害福祉課				●	●	●	●		栄養バランスのとれた食事を提供すること で、生活習慣病の予防に努めています。ま た歯科保健指導により、個人の障害に 応じた食形態の給食を提供しています。	毎日実施	給食から栄養バランスのと れた食事を実感することが でき、また、食べやすくな る工夫をすることで食事摂 取量が改善されました。	○
18	グループホーム・ケアホーム での相談	障害福祉課				●	●	●	●	●	共同生活を行う住居で、相談や入浴、排 泄、食事等生活上の援助や介護などを行っ ています。	毎日実施	規則正しい食生活を送るこ とができます。	○
19	障害者通所施設、生活介護事 業所での食事提供時における 情報提供	障害福祉課				●	●	●	●		専門職員が個人個人の障害に応じた工夫をす ると共に、その内容を家族に情報提供する ことで、摂取する食料や食事を楽しむこと ができる場面の多様化を促しています。	毎日実施 保護者対象給食試食会 1回5人	食育に関する情報や、食の 大切さを伝えることで、生 活習慣病などを予防し、健 康を維持することができま す。	○
20	母子健康手帳交付時の指導	健康支援室		●							母子健康手帳交付時において、食に関する 知識の普及や相談に応じています。平成22 年度からは3拠点の保健センターでの発行に なり、全ての妊婦に専門職で発行していま す。	母子健康手帳3,728件交付	母子健康手帳交付は、全て の妊婦に面接し、保健指導 につなげる機会です。支援 の必要な人を早期に発見し サポートが可能になってい ます。引き続き実施してい きます。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
相談対応・指導	妊産婦・乳幼児等電話面接相談 21		●							①妊産婦・乳幼児の保護者等の電話等による相談に対して、保健師、栄養士、歯科衛生士、助産師等が相談に応じています。 (平成22年6月から「妊産婦出産子育て総合相談窓口」を開設し、関係機関との連携もはかっています) ②健診後に育児状況など確認が必要と思われる対象者に対し保健師等から電話による保健指導を行っています。	延べ7,883人。	育児不安等の取り組みのひとつとして、「妊産婦出産子育て総合相談窓口」により相談件数が増加しています。	○
	育児相談 22		●							①各健診や電話相談などで相談を希望したり、必要と思われる対象者に案内し、3会場で1～2回/月ずつ実施。 保健師・栄養士・保育士が相談に応じます。 ②地域の校区福祉委員会や保育所などと連携した地区育児相談を実施しています。	①育児相談 開催回数 49回 参加者数 延べ303人 ②地区育児相談 開催回数 141回 参加者数 延べ1,244人	子育て環境の変化に伴う育児不安や孤立化する親子の増加が考えられる中で、育児に関係する相談の場が必要とされている。また二次健診と同日実施している。これは相談の中で医師による確認が必要な場合はつなげている。	○
	アレルギー講演会 23		●	●	●	●	●			専門医師がぜん息・アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患について講話を行なっています。また必要に応じ保健指導を行っています。	開催回数 3回 参加者数 延べ165人	ぜん息やアトピー性皮膚炎などアレルギーについての正しい知識普及に寄与している事業です。偶数年度には指導者研修を行なっています。	○
	健康相談 24						●	●	●	生活習慣病予防・介護予防・歯・栄養・心など健康に関する相談に電話や面接で応じています。 ①面接相談(糖尿病、病態別食生活、歯科、リハビリ相談など) ②電話相談	実施回数 1,916回 参加者数 4,826人	健康増進に向けて食事についても適切な情報提供を行っていく必要があります。	○
	①1歳8か月のひかりちゃん 歯科相談 ②「2歳のにこりちゃん歯科健診」 ③「パパ・ママ歯科相談」 25		●		●	●	●			1歳6か月児健診の結果ハイスコアと判定された幼児とその保護者を対象に、個別相談や健診を、3会場で実施しています。	①24回 715人 ②24回 700人 ③24回 204人	食育推進の目標に沿った内容の事業を行っています。 ①②について事業効果を検討した結果、より効果・効果的な事業設定、内容について検討します。	◎

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
相談対応・指導	26 妊産婦・乳幼児等訪問指導		●							必要と認められた人に対し保健師または助産師・栄養士等が家庭訪問を行い、個々の状態に応じた保健指導や必要な援助を行っています。	訪問件数 延べ3,228人	訪問指導は、乳幼児及びその保護者のみならず他の家族の援助も可能となり、家族の状況にあわせた家族全体の健康に寄与することができる。	○
	27 4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健診時の保健指導		●							①4か月児健診では、第1子に対して離乳食などについて集団指導を実施しています。また、栄養士や保健師などによる個別の相談や保健指導も行なっています。 ②1歳6か月児健診及び3歳6か月児健診では、栄養士や保健師などが相談や保健指導を行っています。	①4か月児健康診査 開催回数 48回 受診者数 3,427人 ②1歳6か月健康診査 開催回数 48回 受診者数 3,390人 3歳6か月健康診査 開催回数 30回 受診者数 2,959人	健診では疾患や障害の早期発見、育児支援に重点を置き、実施することが必要である。食育推進のために活用できる場と考える。	○
	28 歯科健診時の保健指導		●			●	●			歯科医師や歯科衛生士による相談や保健指導を行っています。	①すくすくよい歯教室 778人 ②1歳6か月児健診 3,389人 ③2歳のこりちゃん歯科健診 700人 ④3歳6か月児健診 2,954人 ⑤ハハ・ママ歯科相談 204人	食育推進の目標に沿った指導・助言を行っています。	○
	29 骨粗しょう症検査時の保健指導				●	●	●	●		18歳以上の女性を対象に、骨密度測定（集団検診）を行っています。 ○超音波によるかかとの測定	年10回、986人受診	事業拡大の予定はないが、事業回数も少なく受付枠が限られる上、受診者も固定傾向。若年者への啓発をすすめる必要があります。	○
	30 訪問指導						●	●	●	保健師・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・栄養士が家庭を訪問し、介護や療養方法、健康管理に必要な事項を指導しています。	実人数 85人、延べ人数 234人	寝たきり、閉じこもり、介護家族に対する訪問が多くなる現状があり、食に関する問題は常に付随しています。健康保持・増進に努める必要な援助を行ってまいります。	○

(1. 行政の取り組み)

相談対応・指導	事業等	所管	新規に*印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考察	今後の方向性
	31 骨密度測定時の保健指導	保険給付課					●	●	●	●	健康展参加市民を対象に、市民が自己の健康管理をするための支援として骨密度測定及び保健師による指導を実施しています。	開催回数 1回 参加者数 181人	市民が自己の健康管理をするための支援ができます。	○
	32 人間ドック受診時の保健指導	保険給付課						●	●	●	人間ドック受診対象者（20年度より30歳以上74歳以下）に対し、医療機関が個別指導を実施しています。	人間ドック 1417人 脳ドック 128人 セット（人間ドック+脳ドック） 1,102人	医療機関が個別指導をすることによって疾病の予防、健康管理ができます。	○
	33 特定健診	健康支援室					●	●	●	●	平成20年度より医療保険者に、被保険者及び被扶養者（いずれも40歳～74歳）を対象とする健診・保健指導の実施が義務付けられました。	個別健診 18,049人 集団健診 24,055人 人間ドック 2,475人	昨年度受診率23.0%、今年度30.3%。引き続き受診率向上に取り組みます。	◎
	34 特定保健指導	健康支援室					●	●	●	●	特定健診を受診した結果、メタボリックシンドロームやその予備群と判定した人に対して、生活習慣を振り返り、その改善につなげるための特定保健指導を実施しています。	動機づけ支援 277人 積極的支援 40人 計317人	食事などの生活習慣を改善する支援を継続していく必要がある。	○
	35 子育てつどいの広場事業での相談	保育幼稚園室		●							つどいの広場において、乳幼児を持つ親とその子どもが集う場所の提供や育児相談などを実施し、地域の子育て支援の充実をはかっています。「あっぱるガーデン」で伝承野菜・草花栽培・収穫などもしています。（特活）大阪国際文化協会に委託）	利用人数延べ4,637人 あっぱるガーデンを利用し、四季折々の草花、野菜、ハーブなどに日常的に触れて頂き、収穫祭で実際に食して頂いている	普段の水やりを通して、ガーデンの収穫に関心をもち訪訪者もいる。また、自ら収穫し、食する経験が初めての来訪者もあり、食育の役割を果たしています。	○
	36 放課後こどもクラブでの指導	保育幼稚園室			●						放課後、帰宅しても保護者が仕事などで家庭に不在の市立小学校の1年生から3年生（支援学級在籍の児童及び本市に居住する支援学級在籍の児童は6年生）までの児童の健全育成をはかっています。	放課後こどもクラブの全日開設日の井当時に、食事マナーや食べ物を大切にし、残さず食べるなどの偏食改善等の指導を行いました。	引き続き、友だちと共に楽しく食べる中、食べ物と身体づくりが繋がっていることに気づくよう指導していきます。	○
	37 育児支援家庭訪問事業	保育幼稚園室		●							児童の養育支援が必要でありながら、自ら支援を求めて行くことが困難な状況にある家庭に対して、家庭に訪問し育児に関する相談や助言等の支援を行っています。	訪問件数 80件 122回	食育に関する質問、相談があった場合に随時対応し、必要に応じ、専門職につなぎ、食育に関する正しい情報を理解してもらう場としていきます。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
38 子育て支援センターの相談事業	保育幼稚園室		●							育児、食育、健康などについての相談指導（電話、面談、訪問、出前相談）を子育て支援センター・地域支援保育士が行っています。	相談内容件数 16,500件	食育に関する質問、相談があった場合に随時対応し、食育に関する正しい情報を理解してもらう場としています。	○
39 子育て心の悩み相談事業	こども政策室		●							子育ての悩みや不安、子どもの心身の発達に関する相談を受け、必要な場合は支援サービスにつなぐための調整を行っています。	243件	食育に関する質問、相談があった場合に随時対応し、食育に関する正しい情報を理解してもらう場としています。	○
40 こんにちは赤ちゃん事業	保育幼稚園室		●							生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、授乳状況など親子の心身の状況の把握、および助言を行う。また、子育てに関する情報提供を行う。	訪問人数 3,603人	離乳食講座などを知らせていきます。	○
41 個人栄養食事指導事業	市立豊中病院 栄養管理部		●	●	●	●	●	●	●	医師の指示による、疾病別の個人栄養食事指導を行っています。	指導人数 1,673人	食事療法について正しい理解をしてもらう事で、治療の一助としてもらうようしている。	○
42 ふれあい看護での相談事業等	市立豊中病院 看護部		●	●	●	●	●	●	●	①看護の日イベントを行っています。 ②栄養管理部では各種生活習慣病の食事による予防及び治療についてのパネル展示、骨密度測定・血糖測定・体脂肪測定後の異常値が出た方への無料栄養相談などを行っています。	開催回数 1回。相談人数 20人	各種生活習慣病に関する相談が多く、食生活改善に反映させてもらえるよう相談を行っている。	○
43 環境情報サロンにおける情報提供等業務	環境政策室		●	●	●	●	●	●	●	(NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21に委託) ①環境関連の図書・雑誌の閲覧、インターネットを活用して環境関連情報の発信・提供・アドバイスなど。 ②講座の開催。情報交流の場の提供。	来館者数 4,479人	環境関連情報（食に関すること含む）の発信・提供・アドバイスをしています。	○
総合的情報提供													

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
44 子育て支援センターほっぺ事業	保育幼稚園室			●						①地域子育て支援センターを統括する中核施設として、子どもの視点に立った子ども施策の企画調整、子育て情報発信の受発信や相談、子育て講座(手づくりおやつ講座)、地域の子育て支援する人材の育成等を行い、さまざまな子育て・子育て支援活動をサポートしています。 ②地域福祉計画の保健・福祉・医療の関係機関と連携して全体的な子育て支援のネットワークづくりを進めています。	プレイルーム利用人数14,218組 30,514人	親子のコミュニケーションの確保や、食育に関する効果があります。	○
				●						①6ヶ所の地域の子育て拠点施設として、子育て相談、情報提供、子育てサークルの育成、遊びや交流の場の提供等を行っています。 ②地域支援保育士とともに、「地域福祉ネットワーク会議子ども部会」を運営、住民や関係機関・団体との連携のもと地域の子育てネットワークづくりに取り組んでいます。	①地域支援センター15カ所のプレイルーム利用人数 23,177組 49,990人	親子のコミュニケーションの確保や、食育に関する効果があります。	○
46 あそびの広場 (畑計画)	豊中人権まちづくりセンター			●						来館する子どもたちが菜園活動を行っています。「作る」「育てる」「食べる」をキーワードにした体験を通じ、自分の身体や生命を大切にすることを学びます。	実施回数 27回 参加者数 215人	菜園活動を楽しみにしている子どもたちと、食について学ぶ機会を提供できています。	○
47 お菓子づくり教室	豊中人権まちづくりセンター			●						食育に関し季節にあった食材を使いながらお菓子をつくり、調理の楽しみを体験しています。また、グループの参加者がお互いに協力しあって作業をすることでつながりづくりのきっかけとしています。	実施回数 10回 参加者数 195人	仲間と協力しながら調理を楽しむとともに、食について学ぶ場となっています。	○
48 ささえあい参加型食事会	豊中人権まちづくりセンター							●	●	園芸ボランティアが育てた老人類の家の作物や身近な食材で成人病予防等健康管理・高齢者等の食事に配慮した調理ボランティアによる調理を学び皆で会食しています。	実施回数 21回 参加者数 833人	月2回の会食を楽しみながら、調理ボランティアと地域の高齢者の交流の場となっており、今後も継続の必要があります。野菜くずや残菜は堆肥として園芸ボランティアが活用しています。	○
総合的情報提供													
交流・体験機会の提供													

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
49	給食	障害福祉課			●	●	●	●		①おいしく、安全に、仲間と楽しく食事を する場を提供しています。 ②季節の行事食を提供しています。	毎日実施	仲間と共に季節感のある食 事とすることで、心豊かな 生活ができます。	○
50	収穫体験	障害福祉課			●	●	●	●		地域の方からの招待で、施設通所者が、い ちご・たまねぎ・じゃがいもの収穫を体験 しました。	1回 22人	食への関心を深め、地域と のつながりを持てる貴重な 体験になっています。	○
51	調理体験	障害福祉課			●	●	●	●		調理実習を体験しています。	菜園活動の収穫物によるクッキング など、年間を通じて随時実施。	実際に調理に関わることで 食に関心を持つことができ ます。	○
52	食育スタディデー みんなで収穫祭	健康支援室		●	●		●	●		(NPO法人とよなか市民環境会議アジェン ダ21協力) ・緑と食品のリサイクルプラザ見学と「と よびー」製造の話 ・収穫体験(大根、白菜、かぶなど) ・収穫物をスタッフが調理したものを食べ る	1回 71人	低学年児童の体力を考慮 し、保健センターへ移動し ての調理体験を割愛しまし た。移動時間がなくなった ことで収穫体験を充実させ ることができ、満足度の高 い内容となりました。	○
53	施設見学	広報広聴課	●	●	●	●	●	●		市民団体等を対象に、学校給食センターや 緑と食品のリサイクルプラザなどの見学に ご案内しています。	3件、総参加人数49人(うち給食 センター2件、計36人)	食育に関する施設を市民に 見学してもらおう機会として 好評なので、継続して市民 の参加を呼びかけたい。	○
54	「親と子の遊びのひろば」パ ンダグループ	保育幼稚園室	●							①2,3歳の子どもとその保護者を対象に、人 権を尊重した保育を基本に遊び提供・情報 提供を行っています。その中で、保護者同 士が子育ての楽しさを実感し、悩みを出し 合う場をもち、保育所とともに地域の中で つながっていただける子育て支援をしていま す。 ②パンダグループの中で、大勢の子どもと ともに保育所の給食経験を行うことで食事 の楽しさを味わっています。	②「親と子の遊びの広場」パンダグ ループ 630組	栄養のバランスと一緒に食 べること(コミュニケーション)の楽しさを伝えて いきます。また、食品の安 全性に関する意識の増進に つながります。	○

交流・体験機会の提供

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
交流・体験機会の提供	55 青少年野外活動事業	青少年育成課			●					共同で野外活動をする中で食事を通して交流を行っています。 ①自由研究キャンプ (小学3、4年) ②ジュニアサマーキャンプ (小学5、6年) ③サイエンスキャンプ (小学3、4年) ④ファミリーキャンプ (小学生とその家族) ⑤キャンピングスクール (小学3、4年) ⑥サイクリング (中学生)	NPO法人豊中市青少年野外活動協会に委託(キャンプ名：参加人数) ①自由研究キャンプ：27人 ②ジュニアサマーキャンプ：30人 ③サイエンスキャンプ：37人 ④ファミリーキャンプ：51人 ⑤キャンピングスクール：42人 ⑥サイクリング：9人	応募もあり、定例の事業として実施したい。食事の前の歌や準備など一緒にすることで交流がよく行われています。	○
	56 青少年自然の家主催事業 (宿泊事業)	青少年育成課			●					小学生を対象とした野外活動事業を実施。竹で作った食器(箸、コップ)を使用したり、バームクーヘン作りを子どもたちで話し合っって企画したりしました。	内容を変えて、年に2回実施。(6月と3月)竹の食器を作ったり、「火おこし」から料理を行ったりしました。 6月：46名参加 3月：31名参加	野外での食事を含んだ「生活体験」は好評なため、今年度も回数を増やして実施していきます。	◎
	57 青少年自然の家主催事業 (日帰り事業)	青少年育成課		●	●	●	●	●	●	日帰りで気軽に野外での創作活動、自然体験活動に参加できる事業を実施。冷蔵庫を使わないアイスクリーム作りや、たき火料理を行いました。	内容を変えて、年に2回(5月と11月)に実施。 新製り体験と、割った薪を使ったたき火料理等を行った。 5月：288名参加 11月：131名参加	気軽に参加できる日帰り事業として定着してきている。今後も継続して実施したい。	○
	58 三世交代流事業	青少年育成課		●	●				●	協働事業としてNPO 法人シニア自然大学と高齢者支援課と共催	参加人数(小学生と家族のみの数) ①25人：春の野山は楽しいな ②32人：初夏の里山で昆虫と遊ぶ ③34人：みんなで楽しく川遊び ④28人：冬の里山で遊ぶ	小学生とその家族そしておむね60歳以上のシニアの方との食事を通しての交流が図られています。	○
	59 青少年自然の家における給食の提供	青少年育成課		●	●	●	●	●	●	青少年自然の家で給食の提供を行っています。	引き続き実施。 メニューに旬の食材を取り入れる工夫を始めました。	利用者の声などを取り入れながら、今後も継続していきます。	○
	60 地域教育協議会 (すこやかネット)	地域教育振興室		●	●	●	●	●	●	中学校区を単位として、様々な世代が関わりながら、料理講座や食育をテーマにした講演会等を開催し、世代をつなぐ事業を展開しています。	中学校区を単位として、講演会やフェスタの中で食につながる取組みを行いました。	食育に関する講演会等の取組みが今年度も予定されており、世代をつなぐ事業の1テーマとして、今後も活用していきます。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
61 高校生とクッキング	健康支援室	*			●				●	「いざいざシニアのためのお口の健康づくりハンドブック」に掲載しているよく噛めるメニューを考案した桜塚高校の家庭科部員と高齢者が一緒に調理をして共に食べる事業を開催。お口の健康づくりハンドブックを使ったミニ講話とDVDをつかったこっくんにつくって体験も一緒に体験。	平成22年12月に開催。参加者数高校生と高齢者合わせて26名参加した。	高校生と高齢者とともに楽しく調理実習やお口の体操を行うことができ、世代間の交流を図ることができた。	完
62 地域子ども教室	地域教育振興室			●						小学校区を単位として、子どもが地域の大人から料理や食文化についての講義を受けるなど、様々なことを交流しながら学んでいます。	小学校区を単位として、子どもが地域の大人から料理や食文化についての講義を受けるなど、様々なことを交流しながら学びました。	子どもたちへの啓発に一定の効果があり、今後も活用していきます。	○
63 市民農園	農業委員会事務局				●	●	●	●	●	①募集から軒施、契約事務 ②苦情処理 ③栽培講習会 ④運営費助成事務等 ①～④の事業推進による農地の活用及び都市農業・食育の啓発をはかっています。	1区画約15㎡を23か月利用 28農園 1,189区画	住民ニーズの把握に努めるとともに、農園開設者と協議をしながら、利用しやすい農園になるよう努めます。	○
64 とよなか市民環境展	環境政策室、市民環境会議 アジェンダ21		●	●	●	●	●	●	●	(豊中市教委・とよなか市民環境会議・NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21と共催) 市民、事業者、行政の環境問題解決に向けての取り組みの発表・交流の場。概ね、12月第1もしくは第2週に実施しています。	とよなか市民環境展2010「50年かえって見よう これまでの環境 地球からの地球」 参加者数 4,132人	環境問題解決に向けての取り組みの発表・交流の場であることよなか市民環境展において、市民の食に関する取り組みについても発表・交流を行います。	○
65 環境学習の推進	環境政策室		●	●	●	●	●	●	●	①平成16年6月28日設置した環境情報サロンの運営。 ②交通環境学習の実施 ③市民・事業者などが環境への理解を深め、環境に配慮した生活行動や事業活動を行うための支援。 ④環境総合情報システムの学習情報の更新。などをを行っています。	環境フォーラム2010の開催 参加者数 74人 ②10校 1～6年 1,083人、1園 176人 実施内容 (クルマ大集合、エコクイズ大会、出前授業、施設見学等) ③各団体申請により出前講座を実施	環境問題解決に向けて、次世代への教育を行うことにより、学校から家庭・地域への普及啓発として実施しています。	○
66 エコクッキング	減量推進課				●	●	●	●	●	料理にかかるとすべての事柄のムダを思いつく限り省く「もったいない」活動を実践していきます。	22年度は、未実施	-	○

交流・体験機会の提供

各種料理教室・講演会・イベント

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規に*印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の方向性
67	くらしかん祭り 消費生活課 (くらしかん)	●	●	●	●	●	●	●	●	①消費者問題等を楽しく学んでもらうことを目的に毎年統一テーマを決め、様々な催しをくらしかん全体で行う消費者啓発イベントを開催しています。 ②平成10年度からくらしかん登録グループとともに実行委員会体制で企画運営をしています。	協力団体 17団体 (くらしかん登録グループを除く) 参加者数 826人	食に関するブースも設けているので、食育を推進していきたい。	○
68	子どもの消費者教育講座 消費生活課 (くらしかん)			●						小学生対象の消費者問題啓発講座の中で食に関する講座を実施しています。	4回実施。内2回は、食育の推進を図った。①料理講習「夏野菜たっぷりカレーとデザート作り」参加者19人②食品表示関係講座「食品の色で実験〜お菓子で毛糸を染めてみよう〜」参加者21人(親子)	子ども向け料理実習については引き続き実施予定です。	◎
69	くらしの教員セミナー 消費生活課 (くらしかん)					●	●	●		小中学校技術家庭科教員対象の消費者問題啓発講座(年2回)を実施しています。	「小学生向け消費者問題について考える」、「糖水ハウス株式会社 総合住宅研究所 納得工房」の2回実施。	子どもに近い教員向けに引き続き実施していきたい。	◎
70	消費者啓発講座 消費生活課 (くらしかん)		●	●	●	●	●	●	●	22年度よりくらしの専門講座とくらしの一日講座を統合し「消費生活セミナー」に改名 ①消費生活セミナー：消費生活の基礎知識を学ぶ講座 ②消費者月間行事：消費者月間の5月以内に閣府の統一テーマに沿って行う啓発事業として食に関する講座を開催しています。 ③学校向けに啓発講座を開催している	①消費生活セミナー：8回(内3回 食育関係講座)、ライフカフェ「食気シェフから学ぶ」3回開催・「食品表示最前線〜食品表示と安全〜」1回開催 ②月間行事 1回 ③学校における啓発事業 64回(1クラス1回でカウント) 2,381人(内13回316人)	食べることや食べるもの、食生活全般に関する講座を実施していきます。	○
71	くらしの研究発表会 消費生活課 (くらしかん)		●	●	●	●	●	●	●	くらしに関する問題について、調査・研究をしている消費者グループなどに発表の機会の提供を毎年行っています。	発表団体は3グループ、くらしから提案！2010を発行	毎年実施し、食に関するテーマを扱った発表も過去にあり、引き続き実施します。	○
72	生活情報ひろば事業(市民啓発業務等) 消費生活課 (くらしかん)		●	●	●	●	●	●	●	(とよなか消費者協会に委託) 平成18年8月に制定した「豊中市の消費者のくらしを守る条例」に基づいて開設した「生活情報ひろば」において、くらしかん登録グループ主体による消費者啓発講座・展示等の中で、食に関する講座・展示を開催しています。	パネル展3回「健全な食生活と歯の健康」他 地産地消イベント 12回・2回(コロボ+中公民館、各1回) 講座 18回「魚屋さんが教える魚料理法」「元氣な食卓」等	食に関する市民啓発や食育推進の目標に合致する内容の講座等を引き続き実施します。	○

各種料理教室・講演会・イベント

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
73 介護予防教室	高齢者支援課								●	特定高齢者（要支援・要介護状態等となるおそれの高い、虚弱な状態にあると認められる65歳以上の者）を対象に「運動器の機能向上」「低栄養改善」「口腔機能向上」等の介護予防教室の開催しています。	いきいき元気教室（介護予防教室）で低栄養改善の講話・食に関するアドバイス等を実施した。 運動教室 19クール 298人 お口元気教室 14クール 156人	総合的な介護予防の推進のため、高齢者向けの低栄養予防の講話を行っている。教室参加が難しい人へも情報提供が必要です。	○
74 妊婦教室「フレンドリーコース」	健康支援室		●							3拠点の保健センターにて1コース22回実施。育児のイメージ作りや先輩ママとの交流などを目的に保健師・助産師が従事しています。	30コース60回開催 参加者数 実 506人 延べ973人	妊娠・育児の基礎知識を普及する場になっています。	○
75 お父さんのための子育て教室	健康支援室		●							初妊婦とそのパートナーを対象に、沐浴実習、妊婦体験、各種サービスの紹介等を行っています。隔月に1回。土曜日の午前・午後を実施しています。（大阪府助産師会に委託、男女共同参画推進センターと共催で実施）	12回実施。参加者465組 延べ 928人	初産婦とそのパートナーを対象に妊娠・育児の基礎知識を普及する場になっています。	○
76 カンガルークラス	健康支援室		●							栄養士による、妊娠期からの食生活・栄養についての講話。毎月1回開催しています。	実施回数 12回 参加者数 106人	妊娠期だけでなく生涯を通じて食生活について啓発する場として、継続していき	○
77 マタニティママのデンタル教室	健康支援室		●							妊婦を対象に、歯科衛生士による妊娠期からのお口の健康づくりの話や、歯みがきとデンタルフロスの実習を行っています。隔月に1回。	中部保健センターにて6回 71人	食育推進の目標に沿った内容の事業を行っています。	○
78 離乳食講習会	健康支援室		●							離乳食に関する知識・情報の提供 ○会場 千里保健センター、中部保健センター、庄内保健センター ○回数 前期（ごっくんクラス）・後期（かみかみクラス） 年24回ずつ実施。	ごっくんクラス 実施回数 24回 参加者数 897人 かみかみクラス 実施回数 24回 参加者数 801人	定員を増やしたため満員になることが減り、多くの希望者に参加していただくことができました。	○
79 幼児食講座	健康支援室		●							幼児食に関する知識・情報の提供 ○会場 千里保健センター、中部保健センター、庄内保健センター	実施回数 24回 参加者数 159人	幼年期だけでなく生涯を通じて食生活について啓発する場として、継続していき	○

各種料理教室・講演会・イベント

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
80 地区健康教室・介護教室(出前健康教室)	健康支援室						●	●	●	健康に関するご希望のテーマを保健師、栄養士、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士等が地域の会場に出向き、講演します。	実施回数 268回 参加者数 7,884人	食に関する情報を発信する場として、広く活用しています。	○
81 「やって納得！体験型健康セミナー」	健康支援室						●	●	●	メタボリックシンドロームなど生活習慣病予防に焦点をあてた栄養・運動についての気軽に楽しい体験学習。(特定保健指導の場としても活用)	4会場で40回実施 参加者数 417人 特定保健指導の動機づけ支援としても実施。	参加者増加に向け、タイトル、啓発方法を検討していきたい。	○
82 メタボ撃退お料理教室	健康支援室						●	●	●	メタボリックシンドロームなど生活習慣病予防に焦点をあてた調理実習とお口の健康づくりの話。	やって納得！体験型健康セミナー参加者より申込分 4回 36人 広報募集分 1回 10人	栄養バランスのとれた食事とお口の健康づくりについて一度に学べる教室として、今後も継続したい。	○
83 生活習慣改善講座(面接型・通信型)	健康支援室						●	●	●	血液検査などの検査データと、生活習慣調査票から個人の課題を抽出し、各人にあつた目標を決め、実践できるよう支援する講座を開催しています。期間は2か月間。 ①「面接型」：健康セミナー1回・個別面接3回・運動教室3回(希望者)。 ②「通信型」：データの分析・課題についてはインターネットを利用し、福岡大学のサポートシステムを活用して抽出し、この結果に基づいて受講者に対して郵送等のやり取りにより指導しています。 (特定保健指導の場としても活用)	①面接型 299回参加者数 244人 ②通信型 24回参加者数24人 特定保健指導の積極的支援としても実施。	生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現するため、参加者自らが行動変容できるよう支援します。	○
84 すくすくよい歯の教室	健康支援室		●							乳幼児期の歯科保健に関する知識の普及、啓発(講話・健診)。3会場で実施しています。予約制。13年度より内容を見直し、1回2日制に変更しましたが、15年度より、内容を維持しつつ、受講者の利便性を考え、1回1日制に変更しました。	千里保健センター 12回 384人 中部保健センター 6回 347人 庄内保健センター 4回 47人	食育推進の目標に沿った内容の事業を行っています。	○

各種料理教室・講演会・イベント

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
85 食の育みフォーラム	健康支援室				●	●			●	豊中市歯科医師会会長による基調講演、パ ネルディスカッション「60歳からの健口づ くり〜いきいき楽しいシニアライフ〜」、 相愛大学学生によるごっこく・にっこり体 操の実演、豊中市立南丘小学校5年生児童 作成の「歯がつく言葉」の展示、府立桜塚 高校生各案の「歯んですこやか かむかむ メニュー」の試食など。	1回 62人	食を支える「お口の健康づ くり」を考えることで、豊 中市食育推進計画に親しみ を持っていただく機会と なった。今後も計画周知の ため、テーマ設定を工夫し て実施していきたい。	◎
86 子育てに関する講座等の開催	保育幼稚園室			●						子育て支援センターでは親子・同年齢の子 どもと一緒に遊ぶ作り、作る楽しさを 実感し、家庭でも親子のふれあう機会とし て知らせる「おやつ講座」を行っていま す。また、「センター講座」では子どもの 育ちや健康・食育・かわり方について等 の話を提供することで、保護者にとっての 育児不安の軽減や子育てに関する情報を得 る機会としています。	食育に関する講座8回	親子のコミュニケーション の確保や、食育に関心をもち つ効果があります。	○
87 ほのぼのママ教室	市立豊中病院 栄養管理部		●							ほのぼのママ教室の3回シリーズの内1回 で「食事バランスガイド」による妊娠中の 食品摂取の目安及び、鉄分・カルシウムの不 足予防などの理解を深めています。	開催回数 12回。参加人数 99名	平成22年度よりテキスト 内容を一新した。今後さら に妊娠中の食生活について 認識を深めてもらえるよう に行きたい。	○
88 糖尿病教室	市立豊中病院 栄養管理部				●	●	●	●	●	糖尿病教室の7回シリーズの内2回で「糖 尿病食事療法：基礎編」「糖尿病食事療 法：応用編」を開催しています。	開催回数 50回。参加人数 315名	主に入院患者に対し糖尿病 に関する食事療法について 講義を行っており、退院後 の食事療法の継続に役立 てもらっています。	○
89 慢性腎臓病教室	市立豊中病院 栄養管理部				●	●	●	●	●	慢性腎臓病教室の4回シリーズの内2回で 「慢性腎臓病の食事療法の実践：総論」 「慢性腎臓病の食事療法の実践：各論」を 開催しています。	開催回数 6回。参加人数 85名	慢性腎臓病に関する食事療 法について講義を行ってお り、毎回終了後に行うアン ケート結果も概ね良好で す。	○
90 市立豊中病院 市民公開講座 ー糖尿病の基礎知識ー コントで納得!!糖尿病	市立豊中病院 糖尿病セン ター 健康支援室	*							●	市立豊中病院糖尿病センターの糖尿病教室 担当者である医師・コメディカルスタッフ全 員で市民向けに寸劇等を交えた糖尿病の講 演会を開催しました。その中で栄養士も食 事についての寸劇・講演を行いました。	開催回数 1回。参加人数 122名	糖尿病への理解を分かりや すく深めていただけるよう に、スタッフ一同準備にか かりの努力をかけたが、実 施後のアンケート結果も大 変良好でした。	完

各種料理教室・講演会・イベント

(1. 行政の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規 に*印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
各種料理教室・講演会・イベント	91	とよなか倶楽部（糖尿病患者の会）	市立豊中病院 栄養管理部			●	●	●	●	●	糖尿病患者の会の一活動として、糖尿病食の講習及び調理実習を行い、糖尿病食への理解を深めています。	開催回数 1回。参加人数 14名	医師、看護師などもメンバーとして参加しており、毎回調理実習は好評です。	○
	92	がん治療セミナー	市立豊中病院 緩和ケアチーム			●	●	●	●	●	がんサポートプログラム「がん治療セミナー」の一環として7回の内1回で「がんと食事の関係」について理解を深めています。	開催回数 2回。参加人数 34名	代替療法などが人への食事に関する興味深い方が多く、定数超過となる申し込みがあります。	○
	93	文化活動「文化クラブ」「クッキング」「手芸＆料理」	文化館チーム			●					市内在住の児童生徒を対象に、専門講師が季節の果物や野菜をもとに、手作りおやつや食事の話などの講習及び調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。	「クッキング」実施回数31回 延べ参加者数334人。 「手芸＆料理」実施回数31回 延べ参加者数364人。	定員を超える申し込みがあり、希望者全員が受講できるようにしていきたい。	○
	94	創造活動（通称指導教室）プログラム「クッキング」	文化館チーム			●					不登校児童生徒を対象に、専門講師が季節の果物や野菜をもとに、手作りご飯や食事の話などの講習及び野菜の栽培、自家栽培による収穫物を使っての調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。	庄内館は第1・3・5水曜、千里館は第1・3金曜に実施	「食」は生きていくうえでの基本でもあり、「食」に対する関心を高めるようにしていきたい。	○
	95	中央公民館 食育に関する講座	中央公民館			●	●	●			食育の推進、生活習慣病予防のための講座を親子などを対象にして実施した。	年間7回 内容 ①お父さんと一緒に親子ふれあい体操、料理講習会 8月22日（日）9月12日（日） 参加人数18人 ②夏休み子ども料理教室「おやつづくり」8月23日（日）参加人数 13人 ③親子で料理・夏の疲れをとって免疫力アップ 9月19日（日） 参加人数37人 ④子育て広場「乳幼児の『食』について 10月5日（水）33人 ⑤子育て広場「親子で初めてのむしパンづくり」 11月9日（水）参加人数 32人 ⑥むしパンをつくろう 11月13日（土） 参加人数38人	料理作りをすることにより、食の大切さを知ってもらうとともに、若年性肥満の予防対策など、栄養面での知識も学んでもらいました。	◎

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
各種料理教室・講演会・イベント													
96 健康維持と増進を目的とした「食」と「健康」に関する講座	蛸池公民館			●	●	●	●	●	●	食育の推進、生活習慣病予防・改善 介護予防のための講座・講習会を実施してい ます。	ほたる発・世界へ～インドネシアい ろいろ話～ 親子でアウトドア～自然観察&クッ ピング～ 障害者の自立をめざして 阪神友愛 食品(株)見学会 手打ちうどんに挑戦!! 親子で楽しくクリスマスケーキづく り ハレンタイン応援企画 楽しくチョコ レートケーキづくり 明るく老いじたく 身体と食事・い ろいろ話 ホワイトデー応援企画 楽しくチョコ レートクッキーづくり ほたる発・世界へ～インドの家庭生 活いろいろ話～	食育推進の5つの目標のい ずれかに合致する内容で 行ってきた。参加者の食育 への関心も少しずつ広がっ てきました。	○
97 庄内公民館夏の講座 「家庭菜園 夏の果野菜に挑 戦」	庄内公民館	*					●	●	●	夏野菜、果野菜を育てることを通じて、食 の安全・自然とのかかわりについての意識 を高める。	参加者20人(定員20人)	プランターでトマト、キュ ウリ、ナスの手軽な作り方 を楽しく学ぶことにより、 食の安全・自然とのかかわ りについての意識も高めら れたと思います。	◎
98 庄内公民館夏の講座 「元気になる高齢者の食事」	庄内公民館	*					●	●	●	貝原益軒の「養生訓」の中にも、病を得ず に老いを楽しむには食事大切な要素であ る旨が記されています。食事が健康にとっ ていかに大切かについて考える機会としま す。	参加者13人(定員30人)	食事制限は、低栄養になり 必要な栄養が摂取できない 場合があり、それが病気の 怪我の原因にもなります。 食事と栄養のバランスにつ いて考える良い機会となり ました。	◎
99 体育の日の事業	スポーツ振興 課			●	●	●	●	●	●	体育の事業の際に、健康測定(骨密 度測定・体組成測定等)や特定検診 や健康講座申込みの案内等を実施し ていました。			

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
各種料理教室・講演会・イベント	100 農業祭 農業委員会事務局、豊中市農業経営者協議会		●	●	●	●	●	●	●	年1回(11月の第3土曜日)、農協等と実行委員会形式で実施しています。市内で栽培された野菜や観葉植物等の即売、湧芸会、もちつき大会等の実施による都市農業・食育の啓発を行っています。	参加人数 7,000人	豊中市における農業への市民の再認識の場となっています。毎年、市・JA等の負担金の見直しを実施しています。	○
	101 出前教室 上下水道局経営企画課			●						小学4年生及びその保護者を対象に、水道水ができるまでの過程や、各家庭に水道水が配られる仕組みなど、簡単な実験を行いながら説明します。 食の原点となる「水」への関心を深め、水道水が安全な飲み物であることを理解してもらうことがねらいです。	実施校数 35校 参加者数 3,012人(児童) 〃 100人(保護者)	毎年度、市内全校(小学4年生)を対象に実施することを目標としています。	○
講師派遣	102 出前講座 広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	市民(団体)や学校等が主催する、食育や生活習慣病の予防(食事編)に関する講座に、講師(市職員)を派遣しています。申込制。	全テーマ 139件、総参加者数 4,659人(うち食育関係テーマ9件、442人)	食育に関する情報を市民に提供する機会として好評を得ており、継続して市民へ情報発信していきたい。	○
その他啓発	103 高校生と作るお口の健康づくりパネルシアター(食育媒体作成プロジェクト) 健康支援室			●	●	●				幼児を対象にしたお口の健康づくりパネルシアターを高校生が企画・作成し、高校の文化祭や幼児対象のイベントなどで高校生が幼児に歯科保健啓発活動を実施しました。(社)豊中市歯科医師会協力)	パネルシアターの作成2件、型紙配布は4件あり。子ども向けイベントにて3回公演実施。	食育推進の目標に沿った指導・助言を行っています。	○
	104 「食育月間」「食育の日」の啓発 健康支援室		●	●	●	●	●	●	●	毎年6月を食育月間、毎月19日を食育の日として啓発を行っています。	6月20日の父の日のイベントで啓発を行いました。	市民の啓発に一定の効果があり、継続の必要性があります。	○
	105 「食事バランスガイド」の啓発 健康支援室		●	●			●	●	●	食育講座などにより食事バランスガイドの啓発を行っています。	随時実施	「食事バランスガイド」を参考に食生活を行う人はまだ少ない状況なので、今後も啓発する必要があります。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
その他啓発													
106 給食施設への食育推進支援	豊中保健所		●	●	●	●	●	●	●	①給食施設における喫食者に対する食育推進を支援しています。 ②豊中集団給食研究会の運営を支援しています。	①幼稚園・保育所・事業所・社会福祉施設等に給食管理・喫食者への食育推進の助言を行いました。 ②各施設の給食向上、喫食者に対する食育推進・健康づくり、地域貢献といった観点で、施設間の情報交換や勉強会等の活動を行いました。 活動回数：11回、延べ参加施設・人数：118施設・138人	給食から発信する健康づくりの充実を目指して、給食管理等のサポートを行う必要性があります。	○
107 「うちのお店も健康づくり応援の店」の普及・啓発	豊中保健所		●	●	●	●	●	●	●	「うちのお店も健康づくり応援の店」の普及・啓発を行っています。	「うちのお店も健康づくり応援の店」の作成し、飲食店・惣菜店等に健康づくりの応援店であることの認識を持ってもらうと共に、地域のイベント・体育の日事業・保健所での事業で府民に「うちのお店も健康づくり応援の店」のPRを行いました。また保健所ホームページでも駅前マップを掲載しました。	「うちのお店も健康づくり応援の店」の普及をするために、「駅前マップ」「応援団の店のアンテナ店」等を作成し啓発を行います。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
食品廃棄物・地産地消	公園みどり推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワーク		●	●	●	●	●	●	●	①学校給食センターから出る調理くずや給食の食べ残しに、公園や街路樹から出る剪定枝をチップ化したものを混合し堆肥化しています。できあがった堆肥（とよっぴー）は土壌改良材として、市内等の農地、公園や緑地、学校・保育所、各種イベントなどで配布・頒布しています。 ②豊中市内の農家の協力をいただき、「とよっぴー」を使って育てた野草等を学校給食の食材に提供する、地産地消の取り組みを行っています。 ③野菜の植え付け・収穫などの体験型学習及び小学校等に出向いて野菜づくりや資源循環等について話をする環境教育を実施しています。 ④市内外からの堆肥化施設の見学者を受け入れています。 ⑤家庭での生ごみ発生抑制等を目的に、堆肥化講習会や野菜づくりについての講習会を実施しています。	①堆肥（とよっぴー）の配布・頒布：約129トン ②学校給食への食材提供：37回、10種類 ③体験型学習及び講座型環境学習：57回、3,751人 ④見学・視察対価：24回、889人 ⑤堆肥化講習会及び野菜づくり講習会：21回、120人	①7月よりバンの搬入を開始したことに伴い、堆肥の製造量が増加し、また、学校給食から出る生ごみの量を堆肥化することができました。 ②6月には、27軒の市内農家が育てた玉ねぎ約7トンが学校給食に使用され、納入実績は飛躍的に伸びています。 ③親子を対象とした体験型講座は好評で、学校で育てた米を使った調理実習や給食時間に訪問する講座型学習の機会が増加しています。 ④市民の見学や行政の視察は減少傾向にありますが、学校等からの見学は安定した需要があります。 ⑤定期的な開催は、少人数ではありますが、密に参加者と話し合うことができ、好評を得ています。	○
	108 生ごみ・剪定枝堆肥化事業		●	●	●	●	●	●	●	（運営は、公募により市民公益活動団体に委託）「市民活動情報サロン」（豊中駅舎内）にて、市民の自主的・自発的な社会貢献活動（市民公益活動）に関する情報提供や相談等を実施しています。	平成22年度 市民活動情報サロン来場者数 5,177人	市民公益活動の推進のため、市民公益活動に関する情報提供・相談等については、今後も継続的に取り組む必要があります。	○
市民による自主的活動への支援	109 市民公益活動推進のための情報提供		●	●	●	●	●	●	●	分野を問わず、公募し、市民公益活動事業に必要な経費の一部を助成。市民公益活動団体の自主的・継続的な発展を支援することにより、市内の市民公益活動全体の推進を図る制度です。	平成22年度助成金交付 団体数 10 助成額 1,761千円	新規団体の申込件数は増加傾向にあり、市民公益活動団体の自主的・継続的な発展の支援につなげていく。今後も継続的な取り組みが必要です。	○
	110 市民公益活動推進助成金		●	●	●	●	●	●	●				

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
市民による自主的活動への支援	市民による環境活動への支援 (豊中アジェンダ21の普及・促進)	111								「とよなか市民環境会議」の事務局として、ネットワーク組織としての活動、ならびに構成団体である市民団体・事業者が主体的に取組む環境活動の促進を支援します。また、「豊中アジェンダ21」の推進組織である「NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21」が主体的に行う普及・啓発活動や実践活動を支援しています。	とよなか市民環境会議協議会の開催 参加者数：187人 とよなかエコ市民賞表彰式の開催 参加者数：94人	行動提案の一つとして「食育」が取り上げられている「豊中アジェンダ21」の普及・促進に努めます。	○
	消費者活動の支援	112								消費者団体について、登録制を実施し、定例会の運営や事業（リユースバザー・くらしかん祭り・講座等）を市と協働で行うことにより、活動の促進支援を図っています。また、使用申込を一般申込の3か月前から6か月前に優遇し、また「生活情報ひろば」を活動・交流の場として提供して活動の支援を行っています。	登録グループ11団体		○
	健康づくり推進員会への支援	113								活動への交付金の支払、講師派遣、活動情報の提供などを行っています。	地域での活動のヒントになるよう、市の食育事業（食の育みフォーラム、お口の体操のDVDとハンドブック）を、会の集まりで紹介しました。	機会あることに情報提供を行っています。	○
	子育てサークルの育成	114								「ほっぺくらぶ」は地域の人材を活用し子育てボランティアの育成・支援を行い、その力を地域に広げています。	手作りおやつ講座を2回実施。それに向けて、ボランティア団体「オリーブの会」が講座の内容を検討する。参加者は29組64人。	イモ掘り体験で、収穫したサツマイモを使うなど、いろいろな食材に触れる機会となりました。	○
	豊中市子ども会連合会の育成	115								子ども会活動事業で、軽食の提供や食事を通じた交流を行っています。 「豊中市子ども会連合会（*）」に事業委託 ①子ども会カーニバル（5月） ②豊中市・鳴門市子ども会交歓会（7月） 「補助金交付事業」 ③子ども会連合会キャンプ（8月） （*市内の各地域で活動している子ども会（単位子ども会）が集まって組織）	参加人数 ①延べ723人：子ども会カーニバル ②32人（豊中市から参加したことども）：豊中市・鳴門市子ども会交歓会 ③3コース124人（全参加者）：子ども会連合会キャンプ	キャンプなどを通して、食事前に歌を歌うことや、調理などを一緒にすることにより、交流がよく行われています。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
市民による自主的活動への支援	116 子どもセミナー・家庭教育セ ミナー講師謝礼金助成事業	青少年育成課			●	●	●	●			学校や地域で行われる、青少年の健全育成をテーマとするセミナー等に関して、講師の謝礼金を助成しています。 ①子どもセミナー：子ども向けプログラム ②家庭教育セミナー：おとな向けプログラム	・子どもセミナー講師謝礼金助成：計12回 参加者数1,109人 ・家庭教育セミナー講師謝礼金助成：計15回 参加者数1,328人 (実施テーマに食育含む)	食そのものに関するテーマは今回ありませんが、親子のコミュニケーションの取り方などのテーマ設定がありました。	○
	117 公民館登録グループ活動支援	中央公民館 蛸池公民館 庄内公民館 千里公民館				●	●	●	●		①料理グループなどに活動場所の確保を行っています。 ②グループ活動成果の社会還元として、グループ体験講習会への支援および公民館講座への講師登用を行っています。	各公民館において、登録グループを講師とする食と健康にまつわる料理講習会を実施。	市民ニーズに、より即した講座運営を行うべく、人材発掘を進めていきます。	◎
	118 公民館活動への支援	中央公民館 蛸池公民館 庄内公民館 千里公民館		●	●	●	●	●	●		公民館による春秋講座運営に際して、情報提供や指導助言を行っている。	上野、東泉丘、北緑丘公民館において、食にまつわる講座を実施。	食を通じて、地域住民の親睦が図られる機会にもなっています。	◎
	119 豊中市農業経営者協議会との協働による都市農業の振興	農業委員会事務局					●	●	●		①部会ごとに事業を実施しています。 ○指導者部会一協議会の基本事項等について協議。 ○研究部会一豊中まつり、農業祭において新鮮野菜を安価で販売。市民園圃技術指導、農業講座等を実施。 ○花井部会一花井の栽培技術の向上等の調査、研究を実施。 ②上記事業を実施している協議会との連携・協働による地産地消の推進、都市農業・食育の啓発を行っています。	学校・保育所の副食野菜の納入	地産地消、食育を推進するものであり、継続の必要性があります。	○
	120 学校・保育所・幼稚園・保護者等への食育推進	豊中保健所		●							①食育情報を提供しています。 ②食育授業への助言をしています。 ③指導教材の紹介をしています。 ④講師紹介をしています。 ⑤食育体験学習先紹介しています。	①～⑤の食育実施支援を行いました。また、保護者への取組みとして、健康教室を開催しました。 幼児・小学生と保護者対象→2回、参加29人 乳幼児と保護者対象→1回、参加26人	今後も継続していきます。	○
	121 食育指導者研修会	豊中保健所		●	●	●	●	●	●		学校・幼稚園・保育所関係者、給食関係者、食ボランティア、健康づくり関係者などを対象に、食育に関するライフスキルを育む手法など食育実践に役立つ、指導者のための研修会を開催しています。	なし。	学校等での食育が定着されてきたことから、今後は、食育実施の側面的支援を中心に、研修会は必要に応じて実施していきます。	△

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
市民 活動 への 支援 自主 的	地域活動栄養士会の育成・支 援	122	●	●	●	●	●	●	●	保健所が進める食育に、地域活動栄養士会 トウモロコシの食育活動を連動させ、活動につ いての助言や情報提供、指導媒体の開発支 援、活動先の紹介を行っています。	年間を通して、豊中地域活動栄養士 会トウモロコシの活動支援を行いました。 （豊中地域活動栄養士会トウ モロコシの実施状況参照）	地域の食育推進の担い手と して、今後も地域活動栄養 士会の育成・支援を行って いきます。	○
関 連 機 関 の 連 携	国連・持続可能な開発のため の教育（ESD）の10年の 取組み	123	●	●	●	●	●	●	●	庁内外に向けてESDについての学習会・ 研修等を実施し、ESDの概念の周知と ともに、各分野と連携・協働しながら、ESD の視点を取り入れた取り組みを進めていま す。	エコライフセミナー（4回） 参加者：49人 ESDリソースセンターwebによる 情報発信等	環境関連情報（食に関する もの含む）の発信と取り組 み団体の行事案内を行いま す。	○
	子育て・子育てネットワーク づくり	124	●	●	●	●	●	●	●	地域子育て支援センター、地域支援保育士 が中心になってコミュニケーション・サー クル・ファミリー・ソーシャル ワーク・とともに各小中学校の地域活動を 支援するために、関係機関や団体との連携 を図りネットワークづくりを進めていま す。	校区連絡会 41小中学校で実施	校区ごとに相談内容を共有 し、同じ視点で地域の親へ 対応していただけるような機会 としては重要です。	○
	地域教育協議会（すこやか ネット）	125	●	●	●	●	●	●	●	市内全中学校区に設置されている地域教育 協議会に対して、市が取り組んでいる子ど もにかかわる事業の情報の提供や、豊中市内 全中学校区地域教育協議会の「交流会」 「連絡会」の実施や拠点の整備についての 支援を行っています。	連絡会の開催4回 （各中学校区代表者） 全体交流会の開催1回（210人）	食に関する情報交換および 発信の場として活用してい きます。	○
	子どもの健康づくりネット ワーク会議	126	●	●	●	●	●	●	●	食育を通して子どもの健康づくりを目的 に、関係機関が集まりそれぞれの機関が食 育として何が出来るか、連携して何が出来 るかを話し合っています。構成員は教育委 員会、学校給食関係者、健康支援室、地域 活動栄養士会、子どもの食を考える会、健 康づくり推進委員会、花と緑のネットなどの 代表者です。	2回開催（5/31、9/16） 様々な関係機関で実施している食育 情報交換および小学5・6年生対象 のコミュニケーション・ネットへの実施協力 を行いました。	この会議を通して、市内の 食育関係団体が連携して食 育事業に取り組むことが出来 ており、平成23年度も継 続予定です。	○
	地域への食育推進	127	●	●	●	●	●	●	●	食育への理解が進むよう、食育情報の提供 や講師紹介、講師派遣を行っています。	随時、食育情報の提供や講師紹介等 を行いました。	今後も継続していきます。	○

2. 教育・保育の取り組み

出版 物	事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
出 版 物	1 食に関する情報発信「簡単おいしいクッキング」「ひよひよ（離乳食の進め方）」「食育だより」等	各保育所・園、幼稚園、保育幼稚園、あゆみ学園・しいの実学園		●							レシピや食べ物に関する情報などを通じて、保護者に食育の重要性を伝えていきます。	各保育所・園で随時配布	保育所・園で実施しているメニューは親しみやすく簡単に作れるレシピ等が好評です。	○
	2 保護者向けに発行する通信	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園		●							栄養士等による食育に関する記事を掲載しています。	随時実施	今後も保護者向けに発信する必要があります。	○
	3 給食の献立表等の保護者への配布	各保育所・園、学校給食室、あゆみ学園・しいの実学園		●	●						毎月給食予定献立表を配布。	月1回配布	献立を伝えることで家庭での食事にも役立つ。食物アレルギーへの対応にも活用しています。	○
	4 教室向け給食だより「もぐもぐ」、栄養メモ	学校給食室			●						毎月、教室掲示用に低学年、高学年別に給食だより「もぐもぐ」、献立カレンダー、栄養・食品に関する一ロメモを発行しています。	月1回各クラス1枚ずつ、1ロメモは4～5種	児童及び保護者がアレルギー対応を行うとともに、望ましい食生活習慣の形成と正しい栄養に関する知識の普及と学校給食への理解を深めるため実施していきます。	○
	5 お弁当づくりの冊子	学校給食室			●						お弁当づくりの冊子を6年生児童に配布しています。	発行部数 4200部	食育推進計画を反映し充実した内容で実施していきます。	◎
	6 給食・弁当時の指導	各保育所・園、幼稚園、小学校、あゆみ学園・しいの実学園		●							①食前食後の食事への感謝を指導していきます。 ②食べ物を大事にし、残さず食べることを指導していきます。 ③食事マナーを指導していきます。 ④嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を指導していきます。 ⑤献立に使われた食材について話題にしていきます。	毎日実施	食べ物と身体づくりが繋がっていることや自分の食べる量もわかっている。仲間と共に楽しく食べ、残さずきれいに食べた時の心地よさを感じることができ食べ物に興味を持ち、食を話題にする姿がみられました。	○
相談対応・指導														

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
7 集会時の指導	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						①朝食をゆっくり食べてから登園するように指導しています。 ②嫌いなものでも一口食べるよう指導しています。	随時実施	機会あることに指導すること、子どもたちの習慣にとで、子どもたちの習慣になることも多く、引き続き実施していきたい。	○
8 一年生給食開始事前指導	学校給食室				●					新1年生の給食開始前に児童の給食への関心を高めるため、学校給食を担当する栄養士・調理員が訪問を行っている学校もあります。	小学校5校で実施	望ましい食生活習慣の形成と正しい栄養に関する知識の普及と学校給食への理解を深めるため実施していきます。	○
9 歯科健診の実施	保育幼稚園室 教育推進室			●	●					虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした歯科健診を実施しています。	年1回実施	お口の健康の維持・増進に努めた。虫歯の早期発見により子どもの健康増進に有効です。	○
10 歯みがき指導	豊中市民間保育園連合会加盟保育園、市立幼稚園・各保育所			●						歯食やおやつの後に行う年齢に応じた歯みがき指導を行っています。	随時実施	歯みがきを習慣づけるため、継続する必要があるため、継続する必要があります。	○
11 ふれあい子育て相談	各保育所・あゆみ学園			●						子育てに関する電話相談と来所（園）による相談を行っています。	随時対応	各々の状況に合わせたアドバースにより育児不安が軽減されている。	○
12 幼児教育支援センターでの相談	保育幼稚園室			●						教育相談や育児相談を行っています。	育児相談随時受付	来所でも電話でも受け付けています。食事も含めたしつけ・健康・保育に関する内容が多いです。	○
13 地域に開かれた幼稚園づくり事業での相談等	保育幼稚園室・豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						私立幼稚園における「子育て支援事業」（育児・教育相談など）を実施しています。	随時実施	私立幼稚園33園において幼児教育の充実事業と子育て支援事業を実施し、事業開始後定期的に地域の未就園児対象に支援を行う園が多くあり、少しずつ定着してきています。	○

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
14 育児相談・就学前相談 対応・指	14 育児相談・就学前相談	保育幼稚園室・ 市立幼稚園			●						公立幼稚園を会場に、地域の子育て中の保 護者を対象にした専門家による相談事業を 実施しています。	随時実施	食育についての相談よりも 心身の発達やしつけ、進学 に向けての内容が多くなっ ています。	△
		各保育所・園、 幼稚園、保育幼 稚園室、小学校			●	●					①野菜や稲の栽培、収穫物による調理など さまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎 を育てています。 ②もちつき等の季節行事を催しています。 ③保護者に、実施状況を報告したり、参 加・協力の場を設けることで、家庭への情 報発信及び食文化の伝達や交流を行ってい ます。	随時実施	食に関わる様々な体験を共 有することで子どもと子ど も、子どもと大人、大人と 大人など人と人がつながっ ていける子どもの姿から親 子の会話も食に関する話題 が多くなり家庭においても 「食」への理解が深まりま した。	○
15 交流・体験機会の提供	15 保育、教育の中で交流体験機会 の提供	豊中市私立幼稚 園連合会加盟幼 稚園 豊中市民間保育 園連合会加盟保 育園			●						○農家と交流しています。 ○角のさばぎ方の見学をしています。 ○年齢に合った調理体験・収穫体験を行っ ています。 ○季節行事： らっきよ漬・栗拾い・干柿 づくり・収穫祭などを行っています。 ○茶道体験をしています。	随時実施	体験することで食育に関心 をもつ子どもも多いことか ら、園ごとに工夫をして継 続していきます。	○

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
交流・体験機会の提供	16 給食	各保育所・園、小学校、あゆみ学園・しいの学園			●						①子どもが、おいしく、安全に、楽しく食事をすることで、心身の発育を促して(保障して)います。 ②季節の行事食を提供しています。 ③給食の配膳を児童・生徒が自ら行うようにしています。	給食をおいしく楽しく食べられるよう子どもたちが様々な取り組みを行なった。●お味見当番●自分でおにぎり●調理に関わる(野菜の皮むき・すじ取り・こますり・和え物を仕上げる・おやつ作りetc)●食材を見る・触る●厨房の見学等	食材に触れたり、給食作りに関わり調理の過程を知ることや食材や調理をしてくれた人に親しみが深まり給食に期待感をもってより積極的に食べようになりました。食へ物に興味をもつ「食」を話題にする姿がみられました。	◎
	17 公立保育所における環境食育推進事業	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						①和食中心のメニューを多くしています。 ②食材そのものの美味しさを知るようシンフルな調理も取り入れています。 ③希望する園児が、16時のおやつづくりに参加しています。 ④日常の給食に保護者が参加できる機会を設けています。 ⑤給食を委託する業者を検討するための試食会に保護者も参加できるようにしています。	随時実施	バランスの取れた食事や楽しい食生活を送れるように、引き続き献立の工夫を行っています。 保護者と意見交換を行なうことは、よりよい給食提供につながるため、継続していきたい。	○
	18 給食の試食と、給食に関する講演会	学校給食室 各小学校PTA			●	●		●			①保育活動において、年間を通じて、ゴミの減量や堆肥作りを行い、併せて食育の推進について計画的に取り組んでいます。 ②関係機関・団体と連携を図り、他保育所及び保護者や地域の子育て家庭への情報提供を行っています。	各クラスで目標を設定し、「食育と環境の計画」を作成。年間を通して保育において実施。	保育所・園において保育の一環としての取り組みが定着しました。	-
	19 学校給食週間	学校給食室				●					「全国学校給食週間」と定められた1月24日～30日に、各地の郷土料理や世界の料理などを取り入れた特別の献立を出すことにより、改めて食に感謝する気持ちや食の大切さを考える取り組みを行っています。	小学校38校で実施 全小学校41校で実施	食への関心を高めることと学校給食への理解を深めることを目的に、実施していきます。	○

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
交流・体験機会の提供	20 児童の社会見学の受け入れ	各学校 学校給食室		●						学校調理員、栄養士との交流を深め、給食ができるまでを見学することで関心を高めています。	原田センター 4校 服部センター 2校	給食への理解と食への関心を深めてもらうことを目的として実施していきます。	○
	21 給食センターの見学（市民向け）	学校給食室					●	●	●	給食センターの様子を見学し、学校給食への理解を深めています。	6団体が見学	給食への理解と食への関心を深めてもらうことを目的として実施していきます。	○
	22 保育、教育の中で、調理体験、イベントなどの取り組み	各保育所・園、幼稚園、小学校、あゆみ学園、しいの実学園		●	●					①栄養素について学んでいます。 ②調理実習を体験しています。	給食づくりに関わったり菜園活動の収穫物によるクッキングなど年間を通して随時実施。魚の解体見学後に給食で食べる等。	偏食の矯正。食べ物の命を感じて大切にいただく気持ちが育まれました。共に経験・共感し仲間関係が深まり自信につながりました。	○
		豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園		●						○季節の果物や野菜について学んでいます（講師：生産地の農協関係者）。	随時実施 ・アレルギー対応クッキング ・家庭から持参した食材を使っている調理体験	食べものに興味を持つきっかけづくりとして効果的と考えます。	○
	23 保育所地域活動事業	保育所		●	●	●	●	●	●	所庭開放、誕生会、養育測定、年間行事、高齢者との世代間交流、育児講座、赤ちゃんサークル等を行っています。	地域の子育て家庭対象に所庭開放毎日。誕生会・養育測定月1回。保育所行事に参加案内、世代交流随時、講座、サークル活動の定期的実施（毎月）	安心して遊べる場所であり、情報交換や相談等で継続して来られる方が多く地域に果たす役割は大きいです。	○
	24 「食」に関する子育て講座	保育所		●						保育所給食をもとに、幼児食や手作りおやつ、食事の話などの講習を行なっています。	地域の子育て家庭対象各所1～2回開催。1回20～30組	保育所給食の実践を基にいろいろな形で理解されやすい。	○
	25 赤ちゃんサークル「びよびよ」での離乳食講座	保育所		●						保育所給食をもとに、離乳食の講習を行なっています。	地域の子育て家庭対象各所1～2回開催。1回10～20組	保育所給食の実践を基にいろいろな形で理解されやすい。	○

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	所管	新規 に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
各種料理教室・講演会・イベント	体験型食育推進事業 26 「わくわく食育プロジェクト」	＊	●	●						わくわく食育プロジェクト「幼保小連携親子料理教室」「世界を食べよう親子料理教室」「お弁当づくり親子料理教室」の開催	わくわく食育プロジェクト「幼保小連携親子料理教室」1回「世界を食べよう親子料理教室」3回「お弁当づくり親子料理教室」4回開催	食育に関する情報を正しく理解し、親子でおいしく、楽しく食事をすることを大切にするため、家庭・地域・学校で連携して体験型食育に取り組むことが大切で、今後も継続の必要性があります。	○
	メニューコンテスト 27			●						保健所と共催で、小学5・6年生からメニューを募集してコンテストを行い、入賞作品メニューを市の小学校給食献立や地域の飲食店・給食施設でのメニューとして活用しています。	「野菜たっぷりランチメニュー」をテーマに夏休みに実施し、10月には体育の日以外で表彰式と入賞作品ポスター展示を行いました。 (応募児童2441人、入賞12人) 平成21年度の入賞作品からは、4作品を市学校給食に採用したほか、「うちのお店も健康づくり応援団の店」承認店・5店舗で8作品を、「豊中集団給食研究会」入会給食施設・2施設で6作品を、地域の料理教室で5作品を、それぞれ活用し、広く紹介しました。	毎年夏休みに実施し、多くの応募があります。 また、入賞作品の学校給食採用、給食店や給食施設で紹介、地域パトでの表彰式実施、飲食店や給食施設での商品化等により、学校関係者・保護者・地域住民にも広く認知されるようになってきており、今後も取り組みを充実させていきたいと考えています。	◎
	キッズフェスタ 28	保育幼稚園室		●						親子の触れ合いや遊びの場の提供、幼児教育情報の発信の中で「食」に関する情報の提供をします。	参加者数 5,396人	市民に定着したくさんの来場者がありました。情報発信のあり方、参加増加に伴う内容の検討及び開催場所の検討していきたい。	○
	子育て総合支援事業「子育て・子育て支援講座」 29	保育幼稚園室、幼稚園		●						専門講師による講演や親子ふれあい遊びなどの実技を通してつながりを広げていきます。	5回127人	各園、食育をテーマにした講座も取り入れる傾向にあります。保護者のニーズを的確に捉え、事業効果を高めていきたい。	○
	親子の学び場講座 30	保育幼稚園室		●						料理・リトミック・音楽・スポーツチャレンジなど多様なジャンルの専門講師による遊びの提供や講演会などを実施しています	1回 30人	土曜日に開催することにより、親子の参加の機会を提供しています。	○

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
31 在園児及び未就園児の保護者向け講演会	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園 豊中市民間保育園連合会加盟保育園			●						①幼児期の食についての講座を開催しています。 ②給食の試食を行い、その中で、栄養士・教諭が給食の意義、給食で行う指導について説明しています。	随時実施	引き続き実施します。	○
32 ハザード	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						産地直送の野菜コーナーを設けています。	地域の人のお店を出店 残屑処理機でできた肥料のプレゼントなど、各園で工夫して実施した。	地域に根ざした交流で評価できます。エコ教育を広めることもできました。	○
33 保育、教育の中で食の循環に関する取り組み	各保育所・園、小学校、あゆみ学園・しいの実学園			●	●					保育・教育の一環として行う野菜や稲の栽培時に、野菜くず、落ち葉を活用した堆肥を使うことで、ごみの減量に取り組みとともに、食の循環を体現し自然の恵みに感謝する気持ちを育んでいます。	季節折々の野菜や稲の栽培を年間計画して実施。給食の食材に使用したところもあった。	堆肥作り菜園活動、収穫、クッキングと一連の体験をすることで「食を営む力」を育む基礎となる。	○
34 とよっぴー(生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食食材として使用する「食のリサイクル」の取り組み	保育所 学校給食室			●	●					とよっぴー(給食から出る生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食で使用しています。	保育所では、玉ねぎを4回(400kg)使用	市内の生産者と保育所がつながり、安心・安全な食の提供と地産地消の取り組みとして有効です。	○
35 技能員研究会	保育幼稚園室			●						保育所・あゆみ学園・しいの実学園の技能職員と担当保育所長及び保育幼稚園室栄養士が、給食作りを中心に食育と給食衛生を考える。保育における子どもの安全と環境整備を考え、環境保全・食育に関わる研究の推進をはかっています。	研究会7回開催(内1回は給食衛生講習会)5グループに別れてテーマを決めて勉強し、資料作成(離乳食・食物アレルギー・食に関するおたより・掲示物・ゴミの分別・食育カレンダー)	テーマにそって積極的に取り組み実際に即した資料が作成できました。	◎
36 環境食育推進年間計画の作成	保育幼稚園室			●						保育活動において、ごみの減量や堆肥作りを行い、併せて食育の推進についての取り組みを、年間を通じて見直しをもちったものにするため、年間計画を作成しています。	各保育所においてクラス毎に目標を設定し年間計画を作成実行した。	保育の一環としての取り組みが定着したので今後は保育指導計画一括します。	-

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
37 食育目標の作成	保育幼稚園室		●							「豊中市食育推進計画」「改定保育所保育指針」を踏まえた豊中市立保育所の食育目標を作成。	豊中市保育所の食育目標を基に、各保育所・園の実践に即した目標を作成。	食育目標を作成することで見直しをもって活動することができま	○
38 「食育年間計画」の策定中	市立幼稚園		●							幼稚園教育で「食育の年間指導計画」に基づき指導します。	「幼稚園における保健指導」の冊子を作成。	幼稚園においては、幼児が食を楽しむ内容であったり、幼児の健康と安全に十分配慮するよう保護者に求める一方、園児には適切な食生活の習慣を身につけさせ、栽培や調理活動を通じて、食への関心を持つよう取り組みを進めました。	◎
39 学校における「食に関する指導の全体計画」の策定	教育推進室			●						①各校の定める「食に関する指導の全体計画」に基づき指導します。 ②「食に関する指導の手引き」を活用した指導、教科・領域などにおける食に関する指導、給食時間における食に関する指導などを進めています。	①各校の定める食育の年間指導計画に基づき指導します。 ②「食に関する指導の手引き」を活用した指導、教科・領域などにおける食に関する指導、給食時間における食に関する指導などを進めています。	各校の食育の推進の充実に向けて取り組みを進めていきます。	○
40 小・中学校における指導体制の充実	教育推進室			●						今後配置される栄養教諭などを中心に食育を推進するとともに、教職員を対象にした食育に関する研修会を開催するなど食育の重要性に対する教職員の意識を高め、理解を深めるよう取り組みます。	栄養教諭などを中心に食育を推進するとともに、実践事例書の発行や、シンポジウムの開催、教職員を対象にした食育に関する研修会を開催するなど食育の重要性に対する教職員の意識を高め、理解を深めるよう取り組みました。	食育の推進に大変重要な役割を担っています。今後もさらに指導体制の充実に向けて取り組みを進めていきます。	○
41 職員への教育	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園		●							職員が終礼時に、給食献立に関連する栄養・文化・歴史等について調べ発表しています。	随時実施 食に関する研修会にも参加。	毎日の給食指導に生かすことができています。	○
42 (仮称) 豊中市新学校給食センターの整備(原田・服部学校給食センターの建替)	学校給食室			●						食物アレルギーや障害のある児童への対応食をはじめ、安全でおいしい給食を提供し、食育を推進するための学校給食に関する情報を発信する機能を備えた(仮称)新学校給食センターの整備をめざす。	「(仮称) 豊中市新学校給食センター基本計画」に基づき個別対応食(アレルギー食・障害児食)や新学校給食センターを整備する事業手法、運営体制を検討し、事業化をすすめました。	現在の衛生管理基準に適合するとともに、食育やアレルギー対応など最新の給食センターとして安心・安全な学校給食を実施するため建替えをすすめます。	◎

体制づくり

3. 地域社会の取り組み

事業等	所管	新規に*印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の方向性
相談対応	1 子育てサロン	社会福祉協議会		●	●					親の出会いの場・学習・交流の場づくりとして、校区福祉委員会と民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行なっています。	498回 参加者数 18,571人	継続実施	○
	2 ふれあいサロン	社会福祉協議会		●	●	●	●	●	●	なかまづくり・健康増進、いきがいくりの場として開催校区福祉委員会・民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行なっています。	1,008回 参加者数 17,407人	継続実施	○
体験	3 世代間交流	社会福祉協議会、校区福祉委員会、民生・児童委員		●	●	●	●	●	●	世代をつなぐ学習や交流を促進する場。いも堀り、もちつき、料理教室等を通して食文化の伝達と交流を行うプログラムを実施しています。	183回 参加者数 30,049人	世代間交流は今後も継続していきます。	○
	4 自然と親しむ事業	社会福祉協議会、校区福祉委員会		●	●	●	●	●	●	いも堀り等の土に親しむ事業を全市的に実施しています。	23校区で開催 延べ参加者数 1,323人	市民への啓発の場として、継続して実施します。	○
	5 小学校との交流	老人クラブ連合会（虫池統合延寿会）		●					●	虫池小学校花壇に野菜や花を植えて学習の教材として提供しています。じゃがいも、さつまいも堀りを生徒の皆様にしていただいています。毎年8月には「終戦記念日」前後に当時はのんで「すいとん」を作り、500人分を用意します。中身のなす、じゅうばちさだげ、ねぎ等は学校花壇の畑で出来た野菜を使用します。	21年度同様実施した。	各学年の児童に喜んでいただいている。23年度も実施予定です。	◎
	6 男の生活力養成講座	とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ						●		団塊の世代の男性を主な対象とする、自己実現と食の自立を始めとした生活力の養成をめざす講座を開催しています。	「医師と一緒に考える、楽しく生きるためのミドルエイジからのパートナーシップ」をテーマに、男性更年期を専門とする石蔵文信医師の大阪大学大学院お話を聞きました。 開催1回、参加人数29人	団塊世代の定年退職後の生き方、パートナーとのよりよい関係づくりを、医師の視点からわかりやすく提案しました。一人用土鍋を使った料理レシピも紹介しました。	◎
各種料理教室、講演会、イベント													

(3. 地域社会の取り組み)

事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	22年度実施状況	考察	今後の 方向性
各種料理教室・講演会・イベント													
7 男の料理教室	とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ			●				●		父親と子どもの料理教室を開催しています。親子が一緒に料理をつくることで料理の楽しさと健康への関心を深め、男性の育児参加、家事参加を呼びかけます。	男女共同参画週間事業として「手作りピッツアを作ろう」、親子料理教室として「ママ・パパが楽しく作る！我が家のおいしい「おうちごはんレシピ」」「親子でスィーツづくり」を実施。イクメンと食育を兼ねた講座としました。 開催4回、参加人数98人	子どもと一緒に楽しく料理することで、父親の家事、育児への参加意欲を高めました。栄養バランス、料理の素材選びなど食と健康について考えました。	◎
8 健康教室	健康づくり推進委員会		●	●	●	●	●	●		健康づくり推進員がその居住する小学校区において、豊中市（健康支援室）と協力して実施する健康教室で、食育や口の健康に関するテーマも取り上げています。校区福祉委員会・公民館・老人会等と共催したり、講師を市や保健所の専門職員以外に地域住民にお願いしたり、小学校や地区会館で行ったりと、地域に密着して行っています。	校区健康教室 65回、2,034人 うち、食育に関するテーマ 15回 566人	市民が健康に関心をもつきっかけとなり、今後も継続していきたい。	○
9 市民健康づくりフォーラム	健康づくり推進委員会		●	●	●	●	●	●		健康づくり推進員及び一般市民を対象に健康に関する情報を伝える講演会を開催しています。	1回 134人	フォーラムのテーマは食育に特化はしていないが、フォーラム開催時に食育に関する情報提供も必要に応じて行っていきたい。	○
10 男性の料理教室	社会福祉協議会						●	●		男性の食育や自立を目的に実施しています。	3回 参加者数 62人	継続実施	○
11 ひとり暮らし高齢者の会食会	社会福祉協議会、校区福祉委員会							●		みんなで会食をすることで、孤立感を防ぎ、仲間作りを行っています。	37校区で開催 年回数 344回 延べ参加者数 12,357人	市民への啓発の場として、継続して実施します。	○
12 ミニデイサービス	社会福祉協議会、校区福祉委員会							●		虚弱高齢者を対象に手作りミニデイサービスを実施しています。食育に関する相談も行なっています。	6校区で開催 年回数 99回 延べ参加者数 1,775人	市民への啓発の場として、継続して実施します。	○
13 食育に関する講習会	老人クラブ連合会								●	講師を招いて講習会を開催し、食育に関して学ぶ機会をつくっています。	年2～3回実施した。	23年度は開催回数を更に増やしていきたい。	◎

(3. 地域社会の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	22年度実施状況	考察	今後の 方向性
14 お口の健康づくり講習会の普及	老人クラブ連合会							●	●	お口の健康づくり「ごっくん・にっこり体操」の普及のためDVDの配布	市内19か所各地区の各種会合・各種部会でDVDにより「ごっくん・にっこり体操」の普及につとめました。	23年度より市老連「若手委員会・女性部会」の委員16名を動員して、19か所における「ごっくん・にっこり体操」の普及を強化させます。	◎
15 料理教室	老人クラブ連合会							●	●	高齢者対象の料理教室を老人会各地区で実施しています。	今までどおり実施した。	23年度は開催回数を更に増加させたい。	◎
16 電話・面接健康相談	財団法人豊中市医療保健センター		●	●	●	●	●	●	●	電話もしくは面接で、健康に関する相談に対応しています。相談の対応は、医師会・歯科医師会及び薬剤師会の会員が行い、食育や口の健康に関する内容も相談できます。	8 科目健康相談 実施回数5回 相談件数46件 1 4 科目健康相談（健康展時実施） 実施回数1回 相談件数185件 うち栄養相談件数6件	幅広い年齢層、相談内容に 応えており、今後も継続して 実施したい。	◎
17 豊中市学校歯科医会 研修会	豊中市学校歯科医会			●	●					幼・少年期のさらなる健康増進に寄与するため、学校歯科医師が学校保健活動でより良い指導・助言を行うのに必要な研修を行っている。食育についても取り上げています。	大阪府学校歯科医会より講師を招き講演会を実施。	今後も引き続き実施していきたい。	○
18 歯の保健巡回指導	(社)豊中市歯科医師会 豊中市学校歯科医会			●						児童が歯の健康に関する知識と関心を持ち、歯の健康の維持と病気の予防を実践できる能力を身につけることを目的とし、歯科衛生士専門学校の協力のもと、2年サイクルで市立全小学校に保健巡回指導を実施しています。	歯科衛生士専門学校5校により、22校にて実施。	今後も引き続き実施していきたい。	○
19 よい歯の集い	(社)豊中市歯科医師会 豊中市学校歯科医会		●	●	●	●	●	●	●	口腔衛生の啓発を目的に、歯の衛生週間（6月4日～10日）中の土曜日に、小学校を会場に、啓発イベント、学校歯科医による講演、歯科医を講師とする特別授業参観等を実施。講演会では食育についても取り上げられています。	南丘小学校で実施。 総来場者数1017人。	食育ハネルの掲示などをより工夫し、さらなる食育啓発に努力していきたい。	◎

各種料理教室・講習会・イベント

(3. 地域社会の取り組み)

事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
各種料理教室・講習会・イベント													
20 よい歯の高齢者8020表彰	(社)豊中市歯科医師会								●	80才以上で20本以上歯のある市民を対象に公募。アークア文化ホールにて受賞者を一同に会し表彰式を開催しています。	127人を表彰。	100名を超える方々を表彰できることは大変喜ばしいことです。	○
21 よい歯のコンクール	(社)豊中市歯科医師会			●						大阪府主催の「全大阪よい歯のコンクール」の地区審査会を健康支援室と協力し、3歳未満児を対象とした幼児と保護者を対象にコンクールを実施しています。	地区代表1組、地区優良2組を選出。	今後も引き続き実施していきたい。	○
22 幼稚園・保育所歯磨指導	(社)豊中市歯科医師会			●						(財)ライオン歯科衛生研究所のご協力のもと、豊中市内の幼稚園、保育所で歯磨指導を実施しています。	5園所にて、659人に実施。	例年30近い園所よりご応募を頂き、なかなかご希望に沿えない状況が続いています。	◎
23 豊中市民健康展	(社)豊中市歯科医師会			●	●	●	●	●	●	豊中市医師会・薬剤師会とともに主催。歯科ブースでは歯科健診、歯磨指導、口臭検査、フッ素塗布、食育ハナルの掲示などを実施しています。	歯科ブースでの総のべ来場者数は1,625名。	食育ハナルの掲示などをより工夫し、さらなる食育啓発に努力していきたい。	◎
24 8020運動推進特別事業ワークショップ「お口の健康と介護予防」	(社)豊中市歯科医師会						●	●	●	健康支援室と協力し、「介護予防サポーター養成講座」の中の1講座として、一般市民等を対象としワークショップを実施。グループ（1グループに歯科医師2名含む）に分かれ、お口の健康について討議。	歯科医師9名、一般参加者12名、歯科衛生士等4名。	参加者より、あらためて口腔ケアの大切さを知り大変有意義な時間であった、との感想を頂きました。各人がしっかりと意見を言えるよう1グループの人数を減らすなど工夫した結果、活発な討議ができました。	○
25 各種の食に関する講座	豊中地域活動栄養士会トッデイ		●	●	●	●	●	●	●	様々な年代を対象にした食に関する講座を通して、健康づくりの支援と食に関する情報提供を行い、食育を推進しています。	くらしかん、地域の幼児・保護者、公民館、中学校、地域の会食会や料理教室、市民健康展等、地域での食育活動を実施しました。73回483名。	今後も地域での食育推進活動を行っていきます。	○
26 料理教室	とよなか消費者協会 豊中市小売商業団体連合会								●	共催で料理講習会を開催しています。	3月11日(日)料理教室 「家庭で作ろう春のフレンチ」 和菓子づくり講習会1回	市民に向けた食に関する情報を発信する場として活用しています。	○

(3. 地域社会の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
各種料理教室・講習会・イベント	27 緑と食品のリサイクルブラサ運用事業	NPO法人とよなか市民環境会議 アジェンダ21・花と緑のネットワーク 公園みどり推進課		●	●	●	●	●	●	●	①見学者に対する有機性資源循環の仕組みと食の重要性の啓発を行っています。 ②「とよっぴー祭り」において、豊中産ち米を使用した餅つきや、いも掘り体験などを実施しています。	①見学・視察対応：24回、889人 ②とよっぴー祭り参加者数：約1,000人	①学校等からの農体験と合わせた見学会は安定した需要があり、目に見える形で堆肥の活用を理解していただいています。 ②メインの3つの行事の開催時間をずらしたことで、終了間際まで滞留者が多く賑わっていました。	○
	28 堆肥化講習会	NPO法人とよなか市民環境会議 アジェンダ21・花と緑のネットワーク 公園みどり推進課		●	●	●	●	●	●	●	親子や児童・生徒などに対し、「とよっぴー農園」において、野菜の植え付け・収穫などの食育体験活動の場を提供しています。	体験型学習：22回、1,099人	児童を対象とした体験型学習は定例化し、新たな学校等の開拓が課題ですが、親子を対象としたシリーズ制の連続講座や収穫イベントは好評で、試食会では雰囲気につられて野菜も食べるようになっています。	○
	29 野菜作り講習会	NPO法人とよなか市民環境会議 アジェンダ21・花と緑のネットワーク 公園みどり推進課						●	●	●	家庭向け堆肥づくり講習会を行うことにより、生ごみの発生抑制、家庭菜園での堆肥活用を促進しています。（於：くらしかん・リサイクルプラザなど）	18回、82人	定期的な開催は、少人数ではありますが、密に参加者と話し合うことができ、好評を得ています。	○
	30 出前講座	NPO法人とよなか市民環境会議 アジェンダ21・花と緑のネットワーク 公園みどり推進課			●			●	●	●	有機性資源を利用した上手な野菜づくりの講習会を開催しています。（於：くらしかん）	3回、38人	とよっぴーを活用した減農薬・有機性資源の講座等も開催することで自産自消を推進し、食への関心も高めています。	○
											希望する小中学校等に出向いて次の講座を実施しています。 ①学校菜園での野菜づくりへの助言。 ②米づくり・食品ごみ・地産地消などについて、発生抑制・資源循環の観点からの話。	①体験型出前講座：15回、1,191人 ②講座型出前講座：20回、1,461人	①体験型講座は安定した需要があります。 ②学校で育てた米を使った調理実習や給食時間に訪問する講座型学習の機会が増加しています。	○

(3. 地域社会の取り組み)

事業等	所管	新規に*印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の方向性
各種 料理 教室・ 講習 会、 イベ ント	31 とよっぴー倶楽部 NPO法人とよな か市民環境会議 アジェンダ21・ 花と緑のネット ワーク						●	●	●	市の堆肥化事業の市民応援団を組織し、有機性資源の活用を促進しています。年会費1000円で、主にとよっぴーの頒布日に受付けています。また、年4回のニュースレターを発行・郵送しています。	会員数：82人	市外の方も含めて、地産地消や食の循環の考えに賛同していただいています。受付を頒布時に限定していましたが、新たな方法も検討します。	○
活 動 支 援	32 男女共同参画推進活動への支援		●			●	●	●	●	グループ・団体活動の情報収集・提供、自主グループ活動育成・支援、グループ活動活性化のための講座の開催、すてっぷ登録団体助成金交付、グループ活動リーダー養成、ワークスペース・機器等の提供、交流ネットワークの機会提供、ネットワーク協議会の組織化などを行っています。	協賛事業として2団体の応募がありました。「おうちごはん塾きょうちゃんすまいる」は、元氣な子どもをつくる基本食「重ね煮クッキング」は、働く母親を対象に簡単に栄養価の高い調理方法を紹介しました。「ハングル講座自主グループ準備会」は、韓国料理を通して韓国の食文化を学び、韓国の女性の暮らしについて考えました。 ・事業回数：8回 ・参加人数：111人	市民の男女共同参画を推進する自主的な活動に、経済的支援をし、事業実施に必要な施設・設備を提供し、広報協力を行いました。講座から発展させ、市民のエンパワーメントを図りました。市民をサポートすることで、男女共同参画活動への市民参加の機会を増やしていきます。	◎
	33 地域子育て支援事業		●							①わいわい子育てミーティングを開催しています。 ②子育てサークルマップを作成しています。 ③校区福祉委員会での子育て支援活動（小地域福祉ネットワーク活動）を進めています。	①1回 23人参加 ②500部発行 ③38校区で開催 498回 延べ参加者数18,571人	継続実施	○
食 品 廃 棄 物 ・ 地 産 地 消	34 地産地消ハザード						●	●	●	地産地消の推進を目的に、「生活情報ひろば事業」の一環として実施している地産地消ハザードに参加しています。（於：くらしかん、第2水曜日） また、単独での頒布会（於：さわ病院、第4水曜日）や各種イベントでの頒布も行っています。	野菜の頒布：32回、1,775人	地産地消野菜を提供していただけだった協賛農家が少しずつ増加し、野菜頒布も定着しています。とよっぴーを使って育てた作物の安心・安全を訴えるために、顔の見える付加価値をつける必要がありましたが、消費者からは好評を得ています。	○

(3. 地域社会の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	22年度実施状況	考 察	今後の 方向性
35	生ごみ堆肥化容器等助成	NPO法人とよなか市民環境会議 アジェンダ21・ 花と緑のネット ワーク 公園みどり推進 課					●	●	●	家庭での生ごみの堆肥化活動を支援するた め、堆肥化容器等の購入費の助成や資材な どの配布をしています。	ダンボール資材：23件 コンボスター：1件 電動処理機：4件	気軽に取組めるダンボー ル箱での堆肥づくりを中心 に、活動を支援しました。	○
36	豊中産大根の試食	とよなか消費者 協会	●	●	●	●	●	●	●	農業祭で市民300人に大根炊きをして試食 していただきました。	300人が11時開始と同時に並び15 分で品切れしました。	おいしく楽しく食べること につながる取組みと考えま す。	○
37	市民レングまつり、野菜もぎと の園	市民レングまつ り実行委員会 農業委員会事務 局	●	●	●	●	●	●	●	市民レングまつり会場で野菜のもぎとり園 を実施し、市民に土に親しんでもらい、自 らが収穫する楽しみと新鮮野菜を食する喜 びを提供するとともに市民と農家との交流 を図っています。	4月24日(土)に実施 7,000人参加	レングの開花時期を考慮し 開催日を決定します。	○
38	桜井谷あおぞら朝市	桜井谷あおぞら 朝市運営委員会	●	●	●	●	●	●	●	桜井谷地域を中心にした地場野菜等を販売 する朝市を毎月第1,3土曜日(7月、8月は 毎週)午前9時(夏期は8時半)からJJA大 阪北部桜井谷支店駐車場で開催していま す。	32回開催	地産地消を推進し、地場農 産物を知ってもらうために も、継続の必要性がありま す。	○

食 品 廃 棄 物 ・ 地 産 地 消

4 その他（食育関連の情報提供等）

食育推進グッズ貸出一覧

食育推進グッズ貸出実績

食育推進グッズ貸出一覧

お借りになりたい方は、健康支援室 栄養士（６８５８－２８００）へお問い合わせ下さい。
使用目的によっては、貸し出しをお断りする場合があります。ご了承ください。

グッズ名、(所管)	概要
食育のぼり・旗 (健康支援室)	食育シンボルマーク・キャッチフレーズの のぼり   旗：５枚、ひもつき (縦約 90cm×横約 160cm) のぼり ：５０本 ボールつき (縦約 150cm ×横約 45cm)
食育ジャンパー (健康支援室)	食育シンボルマーク・キャッチフレーズののぼりが入ったジャンパー (５０枚)(色：ピンク、素材：ナイロン) イベント等で、スタッフジャンパーとしてお使いください。   背面 前面
豊中市食育推進計画 パネル (健康支援室)	食育推進計画概要版（A2,カラー）１２枚 １組  ＊豊中市食育推進計画の概要がわかるパネルです。イベント や講座のときの展示用です。

グッズ名、(所管)	概要
お口の健康づくりパネルシアター (健康支援室)	『にこりちゃんとぴかりくんの大冒険』 ＊「カムカムの街」や「おやつの街」などいろいろな街を通りにこりちゃんとぴかりくんが探検をして学びながら、丈夫な歯を持つ元気な子どもの国に向かって進んでいくストーリーです。 ・パネルシアター絵人形 ・パネルシアターステージ ・台本 ・演じ方DVD ※「にこりちゃん・ぴかりくんの大冒険」作成希望の方もご連絡ください。
そのまんま料理カード (健康支援室)	・ちょっぴりごちそう編 ・食事バランスガイド編 ・3皿でバイキング編 ・菓子飲み物カード (群羊社) ＊実物大の料理カードです。重たくないので、持ち運びしやすいです。健康支援室では、料理を例示しながらお話しするときに使っています。
食事バランスガイド掛け図 (健康支援室)	縦約100cm ×横約120cm 布タイプ ＊バランスガイドについて説明するときに使います。大きいサイズなので、講義のときなどに使うことができます。巻いて持ち運びすることができます。

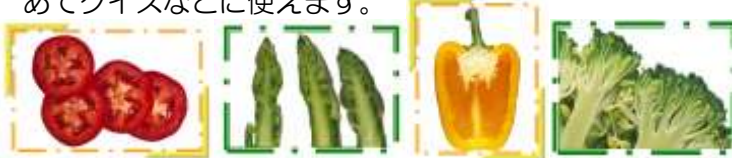
グッズ名、(所管)	概要
食育エプロン (健康支援室)	エプロンシアター 「早ね早おき朝ごはん」 ～生活習慣からはじめる食育～ 演技方 DVD 付 (メイト)  「味覚を育てる食育エプロン」 ～味覚・歯と口の衛生～ (メイト) おいしく楽しく食べる ためのお口の健康づく りについてのお話です  ＊エプロンのポケットから色々なものを取り出して、エプロンにはりつけたりしながら話します。一人で劇のように演じることができます。幼児向けのお話に向いています。
まめつまみセット (健康支援室)	セットの内容 (6 セット) ・ 塗箸 1 ・ 割り箸 1 ・ 器 4 ・ 小豆 30g ・ 大豆 30g ・ スーパーボール 25 個 セットの他に、・キッチンタイマー 2 個 ＊まめつまみゲームができます。豆などを箸で器から器にうつし、制限時間内に何個うつすことができたかをみるゲームです。盛り上がること間違いなし！ 
私たちのからだをつくる食 べもののほなし (健康支援室)	パワーポイント資料 ＊3色栄養などについて学ぶことができます。小学校高学年向け、45分くらいの講座に使えるシナリオつき。 アニメーションを多用しているので、楽しく講座ができます。CD-ROM でお貸ししますので、全部または一部コピーして使ってください 

グッズ名、(所管)	概要
お口の体操人形けいすけ君 (健康支援室)	・ 取り外せる歯や動く舌がついている人形です。  ＊舌や口唇の体操などを指導する際に使います。
顎模型と歯ブラシ模型 (健康支援室)	・ 20×15×15cm プラスチックの顎模型 ・ 23cmプラスチックの歯ブラシ模型  ＊歯磨き指導の時に使います。
口腔内カメラ (健康支援室)	小さなカメラをお口の中に入れ、9インチ程度のモニターでお口の中の状態を見ることができます。 (3台) 
よい歯のつどいカルタ (健康支援室)	B4サイズラミネート 読み札 50枚、取り札 50枚 ＊平成21年度に庄内西小学校で行われた「よい歯のつどい」に展示された庄内西小学生作のカルタです。 ひらがなの読めない子どもでも取れるように、読み札の裏側に取り札と同じ絵を印刷しています。 
はてなボックス (学校給食室)	＊クイズをしながら食育 カードを入れると？ボックスの中にくるとひっくり返り、答えが出てきます。 

グッズ名、(所管)	概要
紙芝居 (学校給食室)	*紙芝居 A2サイズの手づくり紙芝居15種類あります。  けんいち君とまさお君のふたごの兄弟が、お皿にのって野菜の国へ行きました。 そこで人参君や玉ねぎ君の話聞き、今まで野菜が嫌いによくカゼをひいていたまさお君も、がんばってたべるようになり元気になりました。 ・太郎君のむし歯 ・牛乳のおはなし ・食べもの大行進 ・はな子さんの運動会 ・ケンちゃんのぼうけん ・ステップ ララちゃん ・牛乳をのもう ・なんでも博士のロボット ・行こう！栄養の国へ ・楽しい給食 ・まほうのサラスケ君 ・みんな なかよし ・王子様の旅 ・栄養ってなあに？ ・あさごはんを食べよう
とよっぴー (豊肥) (公園みどり推進課)	2.5kg・5kg 袋 (イラスト入り) 3kg・6kg・10kg (透明袋) *「食の循環」に関する環境教育(食育)授業などに使うことができます。袋詰めしたものをお渡しします。 
緑化用バーク (公園みどり推進課)	「剪定枝チップ」に少量の「とよっぴー」を混合して堆肥にしたもので、菜園・花壇等の土壌改良材として使用できます。 公益活動を目的とする団体が所有・管理する施設や公共団体が設置・管理する施設等に年間50kg程度まで配付します。 

グッズ名、(所管)	概要
食育CD-ROM (大阪府豊中保健所)	CD-ROM「元気っ子クラブ」(大阪府)  〈内容〉 ・がんばれゲンキープ号 (三色栄養) ・野菜バリバリ元気っ子 ・朝食モリモリ元気っ子 ・おいしく楽しくヘルシーに ＊子どもがクイズやゲームで楽しく遊びながら、健康的な食生活について学ぶことができるソフトです。各メニューお話とクイズ・ゲームで構成されています。小学生向け(内容によっては幼児でも活用できます)。
野菜ソングCD (大阪府豊中保健所)	CD「野菜バリバリ元気っ子」ソング(大阪府)  ＊楽しく歌って踊って、からだが元気になる「野菜」をテーマとした歌です。曲に合わせた「元気っ子ダンス」の振り付けがついています。体操や運動会、お遊戯などに最適です。
実物大そのまんま食材・料理カード (大阪府豊中保健所)	食材カード→   ←料理カード 食事バランスガイド編 ＊実物大の食材・料理カードです。重たくないので、持ち運びしやすいです。料理を例示しながらお話するときに使います。(群羊社)

グッズ名、(所管)	概要
フードモデル (大阪府豊中保健所)	「野菜1日350グラムフードモデル」(川崎フードモデル) *野菜を1日350グラム摂るための組み合わせ方や量の確認が出来ます。  「食育・栄養3色3食フードモデル」(川崎フードモデル) *赤、黄、緑の3色の食品を使った朝食の献立例のセットです。3つのグループをそろえることや、朝食のお話に。ランチョンマット付き。キャリングコンテナケースに入っています。 
野菜カードゲーム (大阪府豊中保健所)	「Poker831 (ポーカーやさい)」(大阪府) *32種類の野菜の絵が描かれたカードゲームです。ポーカーとしても、絵合わせとしても遊ぶことができます。遊び方の解説シート付き。 
食育かるた (大阪府豊中保健所)	「野菜バリバリ朝食モリモリ食育かるた」(大阪府) *小学生が考えた絵と文で作ったA5サイズの食育かるたです。 

グッズ名、(所管)	概要
食育大型絵本 (大阪府豊中保健所)	大型絵本「やさいだいすきげんきっこ」(大阪府) ＊朝食のお話、野菜料理とそれに使われている野菜の名前あてクイズなどが出来るA2サイズの大型絵本です。 
食育パネル (大阪府豊中保健所)	「野菜バリバリ元気っ子」 「朝食モリモリ元気っ子」  ＊A1サイズのパネルに入っています。(大阪府)
野菜断面図クイズ (大阪府豊中保健所)	「野菜断面図クイズ」(大阪府豊中保健所) ＊10種類の野菜の丸ごとの写真、切り口の写真をそれぞれA3サイズに印刷し、パウチした手作り教材。野菜の名前あてクイズなどに使えます。 
食育スケッチブック (大阪府豊中保健所)	「食育スケッチブック」(大阪府豊中保健所) ＊あか・き・みどりの食べ物の仲間の働きやどんな食品があるかのお話に。食べ物カードとセットで、バランスクイズが出来ます。25cm×35cmの手作り教材。 

グッズ名、(所管)	概要
消費者協会食育パネル (とよなか消費者協会)	・なにわの伝統野菜って? (A1サイズパネル 2枚) ・大阪特産物カード (A3サイズ 22枚) ・地産地消の推進 (A1サイズパネル 1枚) ・大阪エコ農産物とは (A2サイズパネル 1枚) ・なにわの伝統野菜について (A2サイズパネル 1枚) ・日本各地の郷土料理 (A3サイズ) なにわの伝統野菜って? →  地産地消の推進 →   日本各地の郷土料理 ↑  大阪特産物カード ↑ ※イベント等で展示することができます。
我が家の料理レシピパネル (とよなか消費者協会)	A3サイズラミネート 53枚 ※とよなか消費者協会会員が我が家の自慢の料理を持ちよって試食し、写真とレシピをパネルにしました。イベント等で展示することができます。 
お口の健康づくりハンドブックパネル (とよなか消費者協会)	A3サイズラミネート 24枚 ※お口の健康づくりハンドブックをパネルにしました。イベント等で掲示することができます。 お口の健康体操や、よく噛んで食べるメニューなどが載っています。 
まるごとおいしい食育推進ハンドブックパネル (とよなか消費者協会)	A3サイズラミネート 24枚 ※まるごとおいしい食育推進ハンドブックをパネルにしました。イベント等で掲示ことができます。季節ごとのメニュー、お手軽料理、豊中市内の食育実践のヒントなどが載っています。 

食育推進グッズ 貸出実績

平成22年度（2010年度）

貸出日	貸し出したグッズ	使用目的
6月	エプロンシアター、大型絵本 朝食モリモリ元気っ子ポスター 3色栄養食育スケッチブック	市立保育所看護師の研修で貸出グッズの紹介
7月	3色栄養食育スケッチブック 大型絵本	市立保育所調理員の研修で貸出グッズの紹介
7月	豆つまみセット	地域のお祭り
7月	食育カルタ パネルシアター	くらしかん生活情報ひろばの催し
8月～	食育のぼり 食事バランスガイド掛図 野菜バリバリ元気っ子ポスター 朝食モリモリ元気っ子ポスター 野菜バリバリ元気っ子ソング 大型絵本、POKER831 など	図書館特集展示
9月	豊中市食育推進計画パネル	市民健康展で展示
10月	食育のぼり、旗、ジャンパー	メニューコンテスト表彰式
10月	まめつまみセット	体育の日のイベント
11月	まめつまみセット	健康づくりイベント
12月	まめつまみセット	健康づくりイベント
3月	食育かるた、大型絵本、朝食ポスター×1、野菜ポスター×1、	貸出グッズの紹介

平成22年度（2010年度） 豊中市食育推進計画年次報告書

平成23年（2011年）10月

豊中市 健康福祉部 健康支援室

〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15

Tel 06-6858-2800 Fax 06-6846-6022